

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 優
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	4月2日、4月3日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お客様に対し適切な商品選択ができるために代表的な化粧品の訴求成分とその働きや効果について理解する。そして化粧品にとどまらず幅広い知識が持てるように美容医療についても理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
代表的な訴求成分の効果と働きを修得する。肌トラブルに対しての様々な美容医療施術についての知識を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 トータルビューティ科での学びについて知る						
2 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 学校ルールを知る(学則・学則施行細則)						
3 4月2日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 半年後の自分を考える 1年後の自分を考える 2年後の自分を考える						
4 4月2日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 就職分野を知る 5年後の自分を考える						
5 4月3日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 自分が学ぶ町原宿を知る ※街中散策						
6 4月3日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 自分が学ぶ町原宿を知る ※街中散策						
7 4月3日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する						
8 4月3日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する			【評価について】 ●オリエンテーション導入教育は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村 友紀、佐藤 優、白山 かがり
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 2	開講区分 曜日・時間	前期 毎週木曜日1限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク、ビューティアドバイザー、エステティシヤンの実務経験のある担任が就職に向けての気構えを醸成する							
【授業を通じての到達目標】							
①美容学生としての自覚を持ち、それぞれの業界のプロを目指す心構えを持つ。 ②業界のプロを目指すに必要なマナーを習得する。 ③目指す美容業界を知る。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
必要に応じて講師資料の配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 美容学生としての自覚を持ち、学校生活に必要なルールを知り、快適な学校生活を送ることを目指す。個人、クラス目標の確認、目標を達成するために何をしていくべきかを考える。 【授業内容】 ①授業の目的、到達目標、小テスト、定期試験等 ②出席単位確認 ③目標の確認(達成するために必要なこと)④クラス目標 ⑤入学式の振り返り			9	【授業単元】 季節の挨拶(書状)を学ぶ。 暑中見舞いを作成し季節の挨拶を実践する。 【授業内容】 ※官製はがき1枚持参 ①季節の書状の種類について ②暑中見舞いの作成 ③選択授業について		
2	【授業単元】 理想の業界人を想像し、なりたい自分を考える。 なりたい自分に近づくためにどうしたらよいかを考え、学校生活において実践していく。 【授業内容】 ①先週の授業の振り返り ②各業界の仕事について ③理想の業界人とはどういう人が考える ④GWの宿題について(興味のある業界について調べる)			10	【授業単元】 業界人としての所作を意識し、学校生活で実践できるようになる。 後期に進むコース決定し、進路決定後の意気込みを発表する。 【授業内容】 ①お辞儀の種類 ②表情 ③方向の指し方 ④進むコースに対しての意気込み(発表) ⑤ネイル検定模擬試験(筆記)		
3	【授業単元】 業界人として必要なこと具体例を学び、日々の生活で実践できるようになる。 話し方、聞き方、書類の記入の仕方を学ぶ。 【授業内容】※ベルリン話し合い ①GWの報告、宿題回収 ②1、2年生交流会について(質問等) ③相手に対しての話し方、話を聞く姿勢 書類の記入の仕方について			11	【授業単元】 資格取得の必要性について理解をする。今後取得予定の資格についての確認をする。大学生との違いを意識し、資格取得が就職活動に有利で自分自身のスキルアップにつながることを理解する。 【授業内容】 ①資格取得の必要性 ②取得する資格の確認(正式名称等) ③ネイル検定模擬試験(筆記)		
4	【授業単元】 TB科の各コースについて理解を深める。 好きな仕事をしながら自立するやりがいを学ぶ。 【授業内容】 ※ベルリン話し合い ①TB科各コースについて(仕事内容、目指す職種) ②働くこと、自立について考える			12	【授業単元】 社会的マナーを確認し、楽しい夏休みを送れるように計画を立てる。 個々(クラスメイト)を受け入れ、共に認め合うことが出来るようになる。 【授業内容】 ①社会的ルールの確認 ⑦夏休み期間の注意事項 ③TBアワード(表彰式)		
5	【授業単元】 TB科の各コースについて理解を深める。 先輩達の働く姿を見て自分のなりたい姿をイメージする。 【授業内容】 ※ベルリン話し合い ①各職業の仕事内容 ②先輩達の経験談			13	【授業単元】 履歴書の書き方を学ぶ。 【授業内容】 ①夏休みの振り返り ②履歴書の書き方 ③履歴書作成		
6	【授業単元】 TPOに合わせた服装を学び実践できるようになる。 【授業内容】 ※ベルリン話し合い ①通学時と通勤時の服装の違い ②学ぶ場としてふさわしい服装を考える ③理想的な社会人の通勤時の服装とは			14	【授業単元】 履歴書の書き方を学ぶ。 【授業内容】 ①履歴書の書き方(自己PR) ②履歴書作成		
7	【到達目標】 入学後、学んだことを振り返り設定した科目目標が到達したかを確認する。 【授業内容】 ①定期テスト(筆記) ②1Qの振り返り(発表) ③ポートフォリオ作成(1Q)			15	【授業単元】 定期試験(筆記) ・季節の書状 ・お辞儀の種類 ・資格取得の必要性 ・履歴書(提出)		
8	【授業単元】 ①1Qを振り返り、改めて2Qに向けての目標設定ができる。 ②ネットマナーを理解する。 【授業内容】 ①1Qの振り返り(成績表確認) ②2Qの目標設定 ③インターネットに関わるマナー ④欠席扱い免除願いの記入方法			【評価について】 ●筆記試験の実施 出題範囲:・業界人として活躍するのに必要なマナー ●評価:筆記試験結果に加え、出席状況での加点評価を行う			
【特記事項】							

科目名 (英)	相互支援演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂松 香織
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
	トータルビューティ科 共通分野					曜日・時間	6月11日、6月12日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
化粧品メーカーの販売部門で責任者として経験がある担任が、チームワークなど他者との関わりの重要さを体験学習を通じて学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
他者との関わりを通じて思い遣りの気持ちを醸成する また物事の先を読む力を養う							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 6月11日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ベルリンピック(運動会)についての説明 本日の進行方法の説明						
2 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 競技最終練習						
3 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 競技最終練習						
4 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 準備物搬出						
5 6月12日	【授業単元】 競技前準備・ベルリンピック 【到達目標】 競技前準備並びに運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
6 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
7 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
8 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する			【評価について】 ●1・2年生交流会は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	1・2年生交流会	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂松 香織
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	5月9日、5月10日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
化粧品メーカーの販売部門で責任者として経験がある担任が、2年生の在校生を講師に見立てて入学1年後の学びについて1年生に説明を行う							
【授業を通じての到達目標】							
これから学ぶことへの不安の払拭と学年を超えた人脈作りを本学習の1年生の目的とする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 7月17日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 交流会の意義を理解する 本日の進行方法の説明						
2 7月17日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
3 7月17日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
4 7月17日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
5 7月18日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
6 7月18日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
7 7月18日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 グループに分かれて、1年生・2年生が交流を図る						
8 7月18日	【授業単元】 個人ワーク 【到達目標】 2年生と交流を持ったことでのメリットについて書き出す			【評価について】 ●1・2年生交流会は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	2年生コンテスト見学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂松 香織
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	7月17日、7月18日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる							
【授業を通じての到達目標】							
コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 7月17日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 コンテスト見学の目的を理解する 本日の競技内容の説明						
2 7月17日	【授業単元】 コンテスト見学 【到達目標】 各専門分野に分かれて2年生の競技を見学する						
3 7月17日	【授業単元】 コンテスト見学 【到達目標】 各専門分野に分かれて2年生の競技を見学する 表彰式を見学し達成感について考える						
4 7月17日	【授業単元】 コンテスト見学の振り返り 【到達目標】 2年生のコンテストを見学し何を感じたか書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
5 7月18日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 本日の競技内容の説明						
6 7月18日	【授業単元】 コンテスト見学 【到達目標】 各専門分野に分かれて2年生の競技を見学する						
7 7月18日	【授業単元】 コンテスト見学 【到達目標】 各専門分野に分かれて2年生の競技を見学する 表彰式を見学し達成感について考える						
8 7月18日	【授業単元】 コンテスト見学の振り返り 【到達目標】 2年生のコンテストを見学し何を感じたか書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する			【評価について】 ●2年生コンテスト見学は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	メイク基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関亜沙美・深井ルミ・岡田翔子・大瀬順子・坂松香織
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
学科・コース		トータルビューティ科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。 ※JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクに携わる。(深井)							
【授業を通じての到達目標】							
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定合格。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
Basic Makeup							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順 【到達目標】 この授業の目標を内容と目標を理解する。 メイク前準備を修得する。 スキンケアの手順を理解する。			9	【授業単元】 リップ理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。リップメイクのプロポーションと手順を理解し、塗り方を修得する。		
2	【授業単元】 テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技 【到達目標】 テーブルセッティングを修得する。スキンケア実技を修得する。ファンデーションの目的と効果を理解し、色選び、手順、塗り方を修得する。			10	【授業単元】 チーク理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。チークのポイントと範囲、手順を理解し、塗り方を修得する。		
3	【授業単元】 コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。コンシーラー・フェイスパウダーの効果を理解し、手順、色選び、塗り方を修得する。			11	【授業単元】 時間配分・フルメイク50分タイム取り 【到達目標】 フルメイクデモ30分を見て30分フルメイクの感覚を体感する。フルメイクを50分で実施する		
4	【授業単元】 ハイライト・シェイディング理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。ハイライト・シェイディングの効果を理解し、入れ方を修得する。			12	【授業単元】 フルメイク40分タイム取り 【到達目標】 フルメイクを40分で実施する		
5	【授業単元】 アイブロウ理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。アイブロウのプロポーションを理解し、手順、描き方を修得する。			13	【授業単元】 フルメイク30分タイム取り・筆記模擬試験 【到達目標】 フルメイクを30分で実施する		
6	【授業単元】 メイク前準備～アイブロウ実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。			14	【授業単元】 フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ 【到達目標】 検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 メイク前準備～アイブロウ実技を40分で実施する			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施する		
8	【授業単元】 アイメイク理論・実技 【到達目標】 前回までの内容を実施する。アイメイクの範囲、手順、塗り方を修得する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ネイル基礎A	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰奈々・滝本陽子・佐藤弥生・内田由香・戸川智尋・佐藤弥生
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	1セメスター 曜日・時間
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定3級に合格する為に ネイルケア ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケア カラーリング ネイルアートの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げるることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳				無し			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 シラバス読み合せ、学科、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング 【到達目標】 用具用材の名前、用途、爪の構造と働きを修得する テーブルセッティングを実施することができる			9	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げるることができる		
2	【授業単元】 学科、ファイリング(チップ) 【到達目標】 爪や皮膚の病気とトラブルを説明することができる ネイルケアのステップを述べることができる フリーエッジの形を分類することができる エメリーボードの持ち方を模倣することができる			10	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる		
3	【授業単元】 学科、テーブルセッティング、ファイリング、ケア、パリの取り方(相モデル) 【到達目標】 ネイルの歴史、皮膚の構造と働きを説明することができる ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーの ハンドリングを模倣することができる			11	【授業単元】小テスト20点 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる		
4	【授業単元】 カラーリング 【到達目標】 カラーリングの手順を覚え実施する ブラシワークを模倣することができる			12	【授業単元】 フラットアート(リボン、ハート) 【到達目標】 フラットアートのブラシワークを模倣し、バランスを修得する		
5	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング、ケア、カラーリング(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリ ングを模倣することができる カラーリングのブラシワークを模倣することができる			13	【授業単元】 フラットアート(レース、チェック) 【到達目標】 フラットアートのブラシワークを模倣し、バランスを修得する		
6	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリングアート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリング、カ ラーリングのブラシワークを模倣することができる アートを模倣することができる			14	【授業単元】 アート(リボン、ハート、レース、チェック) 【到達目標】 フラットアートのブラシワークを模倣し バランスよく繊細に仕上げるることができる		
7	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣 によって修得し、操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く 繊細に仕上げるることができる			15	【授業単元】定期試験60点 アート(リボン、ハート、レース、チェック)をチップに施す 【到達目標】 フラットアートのブラシワークを模倣し バランスよく繊細に仕上げるることができる		
8	【授業単元】中間テスト20点 テーブルセッティング、事前仕込み、ポリッシュオフ～ネイルケア相モデル 【到達目標】 テーブルセッティングが衛生的に準備できている ネイルケアの手順を把握し実施出来ている 各用具を正しく使用し、30分以内に実施できている			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69 点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ・7月8日(月)～12(金)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・7月14日(日)ネイリスト技能検定試験 3級受験							

科目名 (英)	エステ基礎	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ハンドテクニックによるボディトリートメントの基本を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当です。							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、マッサージやディープクレンジング(スクラブ)などのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント、ボディ実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ボディエステティックとは、目的と効果 事前準備について (P. 50～54) 【到達目標】 ボディエステティックの目的と効果を理解し、事前準備ができるようになる			9	【授業単元】 下肢前面ボディーマッサージについて (11～22) 【到達目標】 ボディマッサージ下肢前面が連続して行えるようになる		
2	【授業単元】 ボディトリートメントのディープクレンジングについて (P. 56) スチームタオルの作り方 【到達目標】 ご案内～消毒～ディープクレンジング～拭き取りができるようになる			10	【授業単元】 前面のディープクレンジングと下肢前面 ボディマッサージについて 【到達目標】 前面のディープクレンジング～下肢前面のマッサージがスムーズにできるようになる		
3	【授業単元】 ボディマッサージ基本手技について(P. 66～69) 前操作～下肢後面(塗布～4) 【到達目標】 ボディマッサージの基本手技を理解し、実際に前操作～下肢後面(塗布～4)までできるようになる			11	【授業単元】 下肢ボディーマッサージについて (前操作～後面～前面) 姿勢と密着 【到達目標】 下肢ボディーマッサージが姿勢よく手の密着を意識して行えるようになる		
4	【授業単元】 下肢後面ボディーマッサージについて 塗布～4までの復習と5～20まで連続して行う 【到達目標】 前操作～ボディーマッサージ下肢後面(塗布～20)まで連続してできるようになる			12	【授業単元】 下肢ボディーマッサージについて (前操作～後面～前面) 姿勢とリズム 【到達目標】 下肢ボディーマッサージが姿勢よくリズムカルに行えるようになる		
5	【授業単元】 下肢後面ボディーマッサージについて 21～32まで下肢全体 【到達目標】 ボディーマッサージ下肢後面の揉捻法、打法、圧迫法、振動法を含めて連続してできるようになる			13	【授業単元】 下肢ボディーマッサージについて (前操作～後面～前面) 姿勢と強弱 【到達目標】 下肢ボディーマッサージが姿勢よく強弱を意識して行えるようになる		
6	【授業単元】 下肢後面の一連の流れについて ディープ～前操作～下肢後面マッサージ 【到達目標】 下肢後面のトリートメントが連続してできるようになる			14	【授業単元】 ボディエステティックの流れ ディープクレンジング～前操作～マッサージ～拭き取り 【到達目標】 ボディエステティックの流れが時間を意識して行えるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～ディープクレンジング～前操作～下肢後面～拭き取りの一連の流れ			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～ディープクレンジング～前操作～下肢後面～下肢前面～拭き取りの一連の流れ		
8	【授業単元】 うつぶせから仰向けのご案内の仕方 下肢前面ボディーマッサージについて(～10) 【到達目標】 ボディマッサージ下肢後面～前面(～10)までスムーズに出来るようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッション基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時間	1 Semester
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
講師経緯: ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師による講義・演習を通して、ファッションへ対しての知識を深め、情報収集方法・プレゼン能力を身につけることが出来るようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
ファッションの基礎を学び、用語やリメイク、プレゼンテーション等を通し、基礎知識を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント・DVD				インターネット以外でファッションを見る事			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ファッションについて 【到達目標】 ファッションとライフスタイルの関係を学び理解する事ができる			9	【授業単元】 アウトウェア 【到達目標】 ジャケット・コートなどのディテールを学び理解する事が出来る		
2	【授業単元】 ニットについて学ぶ 【到達目標】 ニットフェア・アイテムの名前を学び理解する事が出来る			10	【授業単元】 シルエット① 【到達目標】 シルエットの元になるデザインについて学び理解する事が出来る		
3	【授業単元】 デニムについて学ぶ 【到達目標】 デニムのディテールやシルエットについての理解する事が出来る			11	【授業単元】 シルエット② 【到達目標】 ボディタイプにあったデザインを学び理解することが出来る		
4	【授業単元】 リメイク① 【到達目標】 Tシャツを使ったリメイク方法を習得する事ができる①			12	【授業単元】 ハットについて学ぶ 【到達目標】 ヘッドウェアについて学び理解する事が出来る		
5	【授業単元】 リメイク② 【到達目標】 Tシャツを使ったリメイク方法を習得する事ができる①			13	【授業単元】 アクセサリについて学ぶ 【到達目標】 バックの名称やアクセサリの名称を学び理解する事が出来る		
6	【授業単元】 リメイク③ 【到達目標】 デニムを使ったリメイク方法を知り、その方法を理解する事が出来る			14	【授業単元】 8～13限の復習を行う 【到達目標】 8～13限の復習を行い自身の理解をより深めることができる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 1～6回までの理解度テストを実施			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 総復習のテストを実施しファッションについて理解を深める事が出来る		
8	【授業単元】 フットフェア 【到達目標】 フットフェアのディテール、デザインを学び理解する事ができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘア基礎	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木本ルミ子・福島裕司
学科・コース		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時間	1 Semester
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアアレンジをするための道具の使い方を理解し基礎技術を修得する。 実用性のあるスタイルを学び美容の分野で自分自身及びお客様のトータルバランスをイメージできるようになる。 その為のヘアアレンジの技術力、表現力を身に付ける。ヘアメイク現場経験のある講師が担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な道具の使い方を修得し、課題のスタイルを規定時間内作り上げる事が出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
ヘア道具一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 道具のセッティング・名称・取り扱い方 【到達目標】 授業の内容を理解し、準備の仕方、道具の使い方を知る。 ウィッグに触れてみる。			9	【授業単元】 一束の結び方(ポニーテール) 【到達目標】 ゴールデンポイントで一本ゴムを使い一束で結べるようになる。余裕があれば束に巻きをつけてポニーテールスタイルを完成させる。		
2	【授業単元】 コテ巻き 【到達目標】 ブロッキング・スライスの取り方を修得する。 コテの使い方、巻きの種類を学び外巻き・内巻き・ミックス巻きが出来ようになる。			10	【授業単元】 ふわふわお団子スタイル 【到達目標】 一束と編みの技術の応用でカール風お団子スタイルを完成することが出来る。		
3	【授業単元】 ピンの留め方・シリコンゴムの結び方(くるりんぱ) 【到達目標】 スタイルを作る際に欠かせない隠しピンの留め方を修得する。 ハーフアップをサイドをピンングしてスタイリング出来るようになる。			11	【授業単元】 ホットカーラー 【到達目標】 巻き方を修得し、頭の形をよく見せるバランスを学ぶ。		
4	【授業単元】 表編み・表編み込み・後れ毛(ゆるふわ編みおろし) 【到達目標】 表編みと表編み込を修得して、編みおろしスタイルを完成させることができる。おくれ毛のポイントを知る。			12	【授業単元】 ねじり夜会風スタイル 【到達目標】 就活などのスタイルで多い夜会風スタイルのやり方を学びアレンジ出来るようになる。		
5	【授業単元】 裏編み・裏編み込(ゆるふわアップ) 【到達目標】 裏編み・裏編み込を修得して、編み込みアップスタイルを完成させることが出来る。			13	【授業単元】 相モデルアレンジ(お団子ヘア) 【到達目標】 相モデル(人頭)でウィッグで練習したお団子スタイルを完成させることが出来る。		
6	【授業単元】 ローポニー サイド編み込み 【到達目標】 前回まで学んだ技術をすべて使いローポニースタイルを完成させることが出来る。(中間テスト課題)			14	【授業単元】 シニヨン・カールスタイル(パーティーヘア) 【到達目標】 シニヨン・カールを練習し、今までに学んだ技術を取り入れ課題スタイルを完成させることが出来る。(定期テスト課題)		
7	【授業単元】 中間テスト『ローポニー サイド編み込み』 【到達目標】 60分で課題のスタイルを完成させる。			15	【授業単元】 定期テスト『パーティーヘア』 【到達目標】 60分で課題のスタイルを完成させる。		
8	【授業単元】 編み込みアップスタイル 【到達目標】 ロープ編みを修得する。表編み・裏編み・ロープ編みを使ったアップスタイルを完成させることが出来る。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美肌検定	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	1セメスター
						曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容業に携わる自身の為に美肌の知識を深めるとともに、アドバイスができるようになる為に美肌づくりのポイントについて理解し知識を修得する。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について (P. 8～13) 【到達目標】 美肌について理解し、美肌度チェックができるようになる			9	【授業単元】 体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について (P. 48～53) 【到達目標】 美肌を邪魔する大敵(前編)について学び理解できるようになる		
2	【授業単元】 美肌ケアの基本、運動、栄養について (P. 16～24) 【到達目標】 正しい美肌ケアの基本を学び、理解できるようになる			10	【授業単元】 女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節に合ったお手入れ方法について (P. 54～59) 【到達目標】 美肌を邪魔する大敵(後編)について学び理解できるようになる		
3	【授業単元】 皮膚の構造と働きについて(P. 26～27) 【到達目標】 皮膚の仕組みを学び理解できるようになる			11	【授業単元】 クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて (P. 62～65) 【到達目標】 日々のお手入れに欠かせないことについて学び理解できるようになる		
4	【授業単元】 4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造と機能について (P. 28～31) 【到達目標】 肌タイプ、皮膚の機能を学び理解できるようになる			12	【授業単元】 化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法について 【到達目標】 化粧品について学び理解できるようになる		
5	【授業単元】 しわ、たるみについて (P. 32～33) 【到達目標】 加齢による見た目の変化について学び理解できるようになる			13	【授業単元】 フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関連する表情筋、セルフマッサージについて 【到達目標】 肌を巡らせるフェイシャルマッサージについて学び理解できるようになる		
6	【授業単元】 年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P. 34～38) 【到達目標】 年代別お手入れ方法について学び理解できるようになる			14	【授業単元】 美肌をつくる簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて学び理解できるようになる 【到達目標】 ボディーのセルフケアについて学び理解できるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 筆記試験			15	【授業単元】 美肌検定試験 【到達目標】 筆記試験		
8	【授業単元】 細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、生理周期に合わせたお手入れについて (P. 40～46) 【到達目標】 美肌と関わりの深い4大ホルモンについて学び理解できるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ネイル検定対策	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	戸川智尋・佐藤弥生・橋本勇人・滝本陽子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定3級に合格する為に ネイルケア ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、ネイルケア カラーリング ネイルアートの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムベーシック 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 学科、エメリーボードの面取り、ウッドスティックの削り、コットンスティック作成 チップでフリーエッジのファイリング 【到達目標】 ラウンドの形を説明することができる エメリーボードの持ち方を模倣し、操作することができる			9	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く 繊細に仕上げることができる		
2	【授業単元】 学科、テーブルセッティング、ファイリング(相モデル) 【到達目標】 消毒法を比較し、分類することができる ネイルケアのステップを述べることができる エメリーボードの持ち方を模倣し、操作することができる			10	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く 繊細に仕上げることができる		
3	【授業単元】 学科、テーブルセッティング、ファイリング、ケア 【到達目標】 爪や皮膚の病気とトラブルを説明することができる ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリン グを模倣することができる			11	【授業単元】小テスト20点 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く 繊細に仕上げることができる		
4	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング、ケア、カラーリング 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリン グ、カラーリングのブラシワークを模倣することができる			12	【授業単元】 ケア、カラーリング 【到達目標】 ピンクのブラシワークを模倣できる		
5	【授業単元】 フラットアート【丸花(中心無し)・尖り花・バラ・ハイビスカス】 【到達目標】 フラットアートのブラシワークを模倣し、花のバランスを修得する 検定アートのデザインを決定する			13	【授業単元】 ケア、カラーリング 【到達目標】 ナチュラルスキンカラーのブラシワークを模倣できる		
6	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリング、カ ラーリングのブラシワークを模倣することができる アートを模倣することができる			14	【授業単元】 ケア、カラーリング 【到達目標】 ホワイトパールのブラシワークを模倣できる		
7	【授業単元】 テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣 によって修得し、操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く 繊細に仕上げることができる			15	【授業単元】定期試験60点 ケア、カラーリング(ピンク)【片手30分】 【到達目標】 ピンクを正しいブラシワークで模倣し、ライン取りができムラの無い施 術が修得できている		
8	【授業単元】中間テスト20分 事前仕込み、カラー、アート(所要時間40分)相モデル 【到達目標】 テーブルセッティングが衛生的に準備できている カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバラ ンス良く繊細に仕上げることができる 40分以内に実施できている			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69 点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ・7月8日(月)～12(金)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・7月14日(日)ネイリスト技能検定試験 3級受験							

科目名 (英)	選択ヘア&メイク	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福島裕司・秋本いくみ
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、ブライダル、CM、広告のヘアメイクとして活動する講師が、一人一人の個性、ファッションに合わせたヘア&メイクを実践し、トータルコーディネート力、セルフプロデュース力を身につける。 美容業界で大切な『感性』を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
自分を客観視出来るようになる事で、セルフプロデュース力が身に付く。 美容業界、ファッション業界で必要な洗練された印象を身に付けることが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 初回授業説明・メイクアドバイス・相手の良い所を褒める。 【到達目標】 アドバイスを貰う事で今の自分のヘア&メイクを学ぶ。 相手の良い所を見つけて、客観的に見る力を身につける。			9	【授業単元】 眉メイクを学ぶ（メイク&ヘア） 【到達目標】 眉毛の濃さ、形で見える印象の違いを学ぶ事で対面する相手に合わせた印象作りが出来るようになる。		
2	【授業単元】 コテ巻きを行う。（セルフ） 【到達目標】 コテの巻き方、内巻き、外巻き、巻く位置によって変わる印象の違いを理解出来るようになる。			10	【授業単元】 ヘアデザインの作り方を学ぶ。（ヘア&メイク） 結ぶ位置でのイメージの違いを学ぶ。 【到達目標】 作りたいイメージ通りにヘアアレンジが出来るようになる。		
3	【授業単元】 原宿ファッションについて学ぶ。（ヘア&メイク） 【到達目標】 『トレンド』の意味を理解出来るようになる。 個性的なファッションのヘア&メイクが出来るようになる。			11	【授業単元】 ナチュラルメイクを学ぶ。（メイク&ヘア） 【到達目標】 広い年齢層、TPOに合わせた印象の良いナチュラルメイクが出来るようになる。		
4	【授業単元】 キュートな、ナチュラルファッションのヘアメイクの違いを学ぶ。（ヘア&メイク） 【到達目標】 どうしたらキュートイメージ、クールイメージの差を付けた仕上がりが出来るようになる。			12	【授業単元】【10点】 面接仕様のヘアスタイルを行う。（セルフ夜会） 【到達目標】 清潔感のあるヘアスタイルが作れる事で、面接、プレゼンなど人前に立てるようになる。		
5	【授業単元】【10点】 表参道、青山、代官山ファッションについて学ぶ。（ヘア&メイクワーク） 【到達目標】 ゆるふわアレンジが出来るようになる。 『大人ヘア』のポイント、おくれ毛の出し方、トップの崩し方			13	【授業単元】 面接仕様のメイクを行う（就活メイク） 【到達目標】 就職先に合わせたメイクを学ぶ。 清潔感、似合わせ、ファッション性のあるメイクが出来るようになる。		
6	【授業単元】 表参道、青山、代官山ファッションについて学ぶ。（メイクワーク） 【到達目標】 都会的な洗練されたメイクが出来るようになる。 『大人メイク』のポイント			14	【授業単元】 テスト前練習 写真撮り 【到達目標】 テスト前の練習として、面接仕様のヘア&メイクが出来るようになる。		
7	【授業単元】 中間テスト【20点】 【到達目標】 原宿、表参道、青山を歩く事をイメージをしたヘア&メイクを行う。（実技・フェイスチャート・トルソーチャート）			15	【授業単元】 定期テスト（実技・筆記）【60点】 【到達目標】 面接仕様のヘア&メイクの実技を行う。		
8	【授業単元】 前髪のデザインを学ぶ。イメージトレーニング グループワークでお互いのイメージを見てどう見えるか学ぶ。 【到達目標】 第一印象の大切さを学び、そのシーンに合わせたスタイルが作れるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	選択ファッション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
講師経緯: ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師による講義・演習を通してファッションへ対しての知識を深め、情報収集方法・プレゼン能力を身につけることが出来るようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション基礎から学んだ知識を活かし、ファッションエキスパートになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント・DVD				インターネット以外でファッションを見る事			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 トータルコーディネート提案① 【到達目標】 テイスト別のトータルコーディネート方法を習得できるようになる			9	【授業単元】 パーソナルカラー① 【到達目標】 カラー別コーディネート方法を習得する事ができる		
2	【授業単元】 トータルコーディネート提案② 【到達目標】 ターゲット別のトータルコーディネート方法を習得できるようになる			10	【授業単元】 パーソナルカラー② 【到達目標】 シーズンカラー別コーディネート方法を習得する事ができる		
3	【授業単元】 ファッションの歴史① 【到達目標】 過去と現在のファッションを理解する事ができる			11	【授業単元】 映像からトレンドとベーシックのスタイリングを知る 【到達目標】 スタイルからキャラクターを学び理解する事が出来る		
4	【授業単元】 ファッションの歴史② 【到達目標】 ストリートファッションの歴史を理解する事ができる			12	【授業単元】 コレクションからトレンドを知る 【到達目標】 コレクションからストリートへどのように影響するかを学び理解する事ができる		
5	【授業単元】 ショップリサーチ① 【到達目標】 ラグジュアリーブティックに行って接客を体験する			13	【授業単元】 SNSからトレンドを知る 【到達目標】 SNSからのトレンド発信の仕方を習得する事ができる		
6	【授業単元】 ショップリサーチ② 【到達目標】 ラグジュアリーブティックに行って接客を体験する			14	【授業単元】 プレゼンボードの制作・プレゼン方法を習得する 【到達目標】 プレゼンボードを使ってプレゼン方法を習得する事ができる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 前回までの授業の内容を復習し、自分の知識として蓄積できるようになる			15	【授業単元】 テスト 【到達目標】 プレゼンボードを使って1人5分のプレゼンを行い理解を深める事ができる		
8	【授業単元】 フォーマルフェアの知識 【到達目標】 フォーマルフェアの格式装いの知識を習得する事ができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	選択エステ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野・小野
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	1セメスター
学科・コース		トータルビューティ科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
・エステ基礎で習得した技術をもとにエステティックの効果をより実感できるテクニックや実践方法を習得する ・お客様への振舞い方を習得し、エステティシャンとしてお客様をお迎えからお返しまでのオペレーションができるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
エステの効果を覚えることで楽しさを学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 エステティックにおけるホスピタリティと施術前の準備 【到達目標】 エステティシャンの振舞い方を知りお客様の接客を学ぶ			9	【授業単元】 背中、腹部のマッサージとパックを用いたトリートメント 【到達目標】 時間内に効率的に背中、腹部のトリートメントができるようになる		
2	【授業単元】 背中、腹部のマッサージ 【到達目標】 背中、腹部のマッサージを覚える			10	【授業単元】 背中、腹部のマッサージとスクラブ、パックを用いたトリートメント 【到達目標】 新たにスクラブを加え上半身のトリートメニューを一連の流れでできるようにする		
3	【授業単元】 背中、腹部のマッサージ 【到達目標】 背中、腹部のマッサージを正確にできるようにする			11	【授業単元】 二の腕のマッサージ 【到達目標】 二の腕のマッサージが正確にできるようにする		
4	【授業単元】 腹部のマッサージ 【到達目標】 腹部のマッサージを覚える			12	【授業単元】 上半身マッサージ習得 【到達目標】 二の腕のマッサージと背中又は腹部のマッサージを組み合わせ連続してできるようにする		
5	【授業単元】 背中、腹部のマッサージ 【到達目標】 背中、腹部のマッサージを連続してできるようにする			13	【授業単元】 上半身マッサージメニューの作成 【到達目標】 これまでに学習した上半身のマッサージ及びトリートメントを用いてお客様に合ったメニューを考え実践できるようにする		
6	【授業単元】 背中、腹部のマッサージ 【到達目標】 ご案内～アフターカウンセリング迄をトリートメントも含めて一連の流れで時間内に仕上げられるようになる			14	【授業単元】 上半身マッサージメニューの作成 【到達目標】 これまでに学習した上半身のマッサージ及びトリートメントを用いてお客様に合ったメニューを考え効率的に実践できるようにする		
7	【授業単元】 実技試験 【到達目標】 第6回までに学習した背中、腹部のマッサージをご案内から仕上げ、アフターカウンセリングまで含め時間内に施術ができるようになる			15	【授業単元】 実技試験 【到達目標】 サロンと同様にお客様のご案内からアフターカウンセリング迄トリートメントを含め時間内に仕上げられるようになる		
8	【授業単元】 背中、腹部のマッサージとパック 【到達目標】 背中、腹部のパックを学習しマッサージの効果を覚える			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	オリエンテーション導入Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂松 香織
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	後期 (集中)
						曜日・時間	9月26日、9月27日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本校卒業生で化粧品メーカーの販売主任をつとめた担任が、専門分野での学びがスムーズに入れるようこれからの学習について説明を行う							
【授業を通じての到達目標】							
これからの学びについての意識の向上を図り、授業を受ける体制を整える							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 9月26日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 専門分野での学びを知る						
2 9月26日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 専門分野での資格を知る						
3 9月26日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 専門分野ごとの就職先代表者の講演						
4 9月26日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 専門分野ごとの就職先代表者の講演						
5 9月27日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 ポートフォリオ作成						
6 9月27日	【授業単元】 導入教育 【到達目標】 後期スケジュール確認						
7 9月27日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する						
8 9月27日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する			【評価について】 ●オリエンテーション導入教育は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村 友紀、佐藤 優、白山 かがり
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 (集中)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
講師作成資料							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 10月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 就職活動について 企業紹介			9 10月16日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 就職活動について 企業紹介		
2 10月2日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく			10 10月16日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく		
3 10月2日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく			11 10月16日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく		
4 10月2日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析			12 10月16日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析		
5 10月9日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく			13 10月23日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく		
6 10月9日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく			14 10月23日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく		
7 10月9日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け、今後の美容技術の学びに活かしていく			15 10月23日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析		
8 10月9日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析			【評価について】 ●業界特別授業は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂松 香織
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	後期 (集中)
						曜日・時間	11月25日、11月26日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外の美容の状況、文化、生活様式について学ぶ 特に美容各専門分野においては世界各地による特性が出ることから、日本国外の美容の状況を知ることグローバルに活躍できる素地を醸成する							
【授業を通じての到達目標】							
幅広い美容技術を知るとともに将来的に海外でも美容施術者として活躍できるきっかけを持てるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 11月25 日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 国際教育について学習の目的を知る 海外の美容の状況を知る						
2 11月25 日	【授業単元】 海外ゲストによる技術指導 【到達目標】 各専門分野での技術指導を受ける						
3 11月25 日	【授業単元】 海外ゲストの技術を観て学ぶ 【到達目標】 海外ゲスト美容施術デモンストレーション見学						
4 11月25 日	【授業単元】 海外ゲストの技術を観て学ぶ 【到達目標】 海外ゲスト美容施術デモンストレーション見学						
5 11月26 日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 全日の振り返り 本日の内容説明						
6 11月26 日	【授業単元】 グループワーク 【到達目標】 自分が思う「グローバルな活躍」について討議しプレゼンテーション を行う(グループ毎)						
7 11月26 日	【授業単元】 フィールドワーク 【到達目標】 芸術鑑賞						
8 11月26 日	【授業単元】 フィールドワーク 【到達目標】 芸術鑑賞			【評価について】 ●国際教育は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	就職講座Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤/坂松
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期 曜日・時間 水曜 3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人、企業人として、企業社会にソフトランディングするために、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
社会人として仕事をスムーズに進められる方法、雇用形態、各種保険、税金などの種類、一社会人として対応できる力を身につけ、説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
名札、筆記用具、授業用ファイル(各自準備)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 卒業までのシミュレーションを行い、社会人になる心構えを持つ。 【到達目標】 ※授業初回のオリエンテーションを行い、卒業までのスケジュールを知る。 ・各委員決め(クラスリーダー／号令係り／ベルリンピック委員会) ・卒業までのスケジュール確認を行う。			8	【授業単元】 季節の書状についての理解を深め、常識を知り、説明できるようになる。 【到達目標】 暑中見舞い、残暑見舞い、年賀状、寒中見舞い、季節のご挨拶について理解し、はがきの書き方を確認説明できるようになる。内定先企業、またはお世話になっている先生へ暑中見舞いを投函する。		
2	【授業単元】 社会人としての挨拶、立ち振る舞い、報連相を学び、実践する。 【到達目標】 ・内定のお礼状、退職のご挨拶、異動のご挨拶、着任のご挨拶を知り、記述する事ができるようになる。 ・社会人として、基本的な立ち振る舞いを学ぶ。 ・報連相を用いて仕事の流れをスムーズに行うポイントを知る。			9	【授業単元】 冠婚葬祭マナーを理解し社会人としての対応を説明できるようになる。 【到達目標】 ・社会人になる上で、冠婚葬祭マナーを知っておく事で、列席する際の常識などを身につけ、スマートな立ち振る舞いができるようになり、それを説明できるようになる。		
3・4	【授業単元】 課外授業で業界研究をし、最新の化粧品市場の情報を知る。 【到達目標】 ・最新の美容を知り、市場の動きを知る。 ・学生サロンを行う上での情報をたくさん入手し後に行う発表で得た知識を発表し、現場に活かせるようになる。 *ビューティーワールドジャパン * 日程:5/15(水)3・4限 * 場所:東京ビックサイト ※課外授業の為現地集合。 ※5/15(水)に3・4限一緒に行うので、5/8(水)の就職講座は休講となります。			10	【授業単元】 今後のキャリアプランについて理解を深め、説明できるようになる。 【到達目標】 内定～入社～キャリアアップまでの道筋を知り、今後の人生設計を自分で記述する事ができるようになる。役職、会社の中での役割の仕事の内容を知り、説明できるようになる。(TBアワード準備アンケート)		
				11	【授業単元】 給与の額面と手取りの違いを知り、給与の仕組みを説明する。税金について理解し説明する。 【到達目標】 ・給与の仕組み(額面、給与、各種手当)について理解し、説明する。 ・今後支払うべき税金についての仕組みを知り、説明する。		
5	【授業単元】 課外授業振り返り 【到達目標】 ・発表までの流れを確認する。(概要説明) ・5人グループに分かれ課外授業で得た知識などの発表を行う。 ・次回発表までにどのブランドの商品を調査するかを決定する。 ・発表にあたり、各グループの役割を決定させる。			12	【授業単元】 TBアワード 【到達目標】 夏休み前に学んだ事の振り返りを行い、頑張ったことを自分自身で認め、できるようになったこと、今後の課題を省みる。		
6	【授業単元】 会社の雇用形態、各種保険について理解しその上で働くことを理解する。 【到達目標】 ・雇用形態別の特徴を学び、説明する事ができるようになる。(正社員、契約社員、アルバイト、パートタイマー) ・各種保険について理解し、説明する事ができるようになる。(労災保険、雇用保険、健康保険、年金保険)			13	【授業単元】 接遇検定シミュレーションで接客の理解を深める。 【到達目標】 サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、口のきき方、態度・振舞いなどを学び、社会人の接客のシミュレーションを行う。		
7	【授業単元】 1Qで身につけた知識の確認【定期試験】 【到達目標】 ・ご挨拶の種類、社会人の立ち振る舞いについて ・給与の仕組み、税金について			14	【授業単元】 サロンでの電話対応の仕方を学び、述べる。 【到達目標】 ・電話対応の種類を知り、対応ができるようになる。(電話予約、予約キャンセル、本社からの電話、商品の問い合わせ、不審電話) ・実際に電話をかけ応対トレーニングを行い、スムーズに対応できるようになる。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点) 不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 2Qで身につけた知識の確認【定期試験】 【到達目標】 ・季節の書状についての記述 ・冠婚葬祭マナーについての記述 ・キャリアアップについての記述 ・給与の仕組み、税金についての記述		
				【特記事項】			

科目名 (英)	化粧品検定	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 2単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品検定2級合格。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
化粧品検定3・2級テキスト							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 この授業について 3級内容(～35P) 【到達目標】 この授業について理解する 間違いがちな美容知識について理解する			9	【授業単元】 2級内容 90～93P 肌のお手入れと正しい知識 その4 【到達目標】 肌悩みの原因と対策について理解する くま・しわ・たるみ		
2	【授業単元】 3級内容 36～49P 【到達目標】 間違いがちな美容知識について理解する			10	【授業単元】 2級内容 94～108P メイクアップの基本 【到達目標】 メイクアップの基本テクニックのポイントを理解する。		
3	【授業単元】 2級内容 52～59P 皮膚構造 【到達目標】 皮膚構造・表皮について理解する。			11	【授業単元】 2級内容 112～119P 肌の劣化 【到達目標】 肌劣化の原因と仕組みについて理解する		
4	【授業単元】 2級内容 60～69P 皮膚構造 【到達目標】 皮膚構造・真皮・付属器官、皮膚の機能について理解する			12	【授業単元】 2級内容 120～125P 紫外線が肌に与える影響 【到達目標】 紫外線の種類、紫外線が肌に与える影響を理解する。		
5	【授業単元】 2級内容 72～77P 肌のお手入れと正しい知識 【到達目標】 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因と対策について理解する 乾燥			13	【授業単元】 2級内容 126～130P 効果的なマッサージ 【到達目標】 効果的なマッサージの必要性和方法を理解する		
6	【授業単元】 2級内容 78～83P 肌のお手入れと正しい知識 その2 【到達目標】 肌悩みの原因と対策について理解する ニキビ・毛穴			14	【授業単元】 2級内容 132～139P 生活習慣と美容 【到達目標】 美しい肌を作る生活習慣について理解する。		
7	【授業単元】 中間試験 83Pまでの内容 筆記テスト 【到達目標】 一般的な美容知識と皮膚構造、肌悩みについて理解する。			15	【授業単元】 定期試験 139Pまでの内容 筆記テスト 【到達目標】 肌悩みとお手入れ方法、メイクの基本テクニック、肌劣化、紫外線の影響、生活習慣について理解する。		
8	【授業単元】 2級内容 84～89P 肌のお手入れと正しい知識 その3 【到達目標】 肌悩みの原因と対策について理解する くすみ			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ポイント別メイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	関 亜砂美
学科・コース	トータルビューティ科メイクアップコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	後期 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ポイントメイククレンジングからスキンケア、またメイクアップ全般の基礎テクニック、理論を学ぶ。ひとつひとつのテクニックをしっかりと把握・理解し、現場で通じるテクニックを習得する。※メイクアップスクール講師、企業やサロンまた美容部員のメイクアップ教育に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
お客様のご要望や流行のメイクアップパターン、また如何なるパターンのメイクアップデザインにも対応できる理論とテクニックを身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
メイク道具一式・ポイント別メイク演習専用ファイル・筆記用具							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】スキンケアテクニックを学ぶ・1 ポイントメイククレンジングから化粧水のテクニック 【到達目標】この授業の目標と内容を理解する。 ポイントメイククレンジング～全体クレンジング～乳液～化粧水 ポイントメイククレンジングのコツ、注意点 各テクニックを身につける。			9	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・3 アイメイクのパターンを学ぶ・2 【到達目標】グラデーションテクニック *縦ダブルグラデーション まぶたの立体の把握する。アイホールの形をしっかりと捉えた上で目尻からを強調し目頭ハイライトのグラデーションの違いを理解しきれいに作る。		
2	【授業単元】スキンケアテクニックを学ぶ・2 ポイントメイククレンジングから指圧のテクニック 【到達目標】ポイントメイククレンジング～全体クレンジング～乳化～指圧 取り～化粧水～乳液～指圧 フルメイクをされていたお客様を想定しクレンジングからスキンケア一通り行えるテクニックを身につけ、またアドバイスできるようになる。			10	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・4 アイメイクのパターンを学ぶ・3 【到達目標】ダブルライン、アイラインを描けるようになる。 前回学んだまぶたの立体、アイホールを確認しダブルラインを描き上下の立体を把握する。またアイラインの基本、応用ラインを描けるように理論とテクニックを学ぶ。		
3	【授業単元】ベースメイクアップを学ぶ・1 顔の形によるハイライト・シェイディングの入れ方を理解する。 【到達目標】黄金比、白銀比を学び美しさの比率を把握する。 8パターンの顔形に応じたハイライトとシェイディングを学び自分の顔を診断した上でハイライト、シェイディングのフェイスチャートを作成する。それを使用し相モデルで実践する。			11	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・5 リップの3態の形、イメージを学ぶ 【到達目標】リップの基本的な形を理解し、ストレート・アウトカーブ・インカーブ3態それぞれの形の成り立ち方、方程式また形によるイメージの違いを把握する。3態をフェイスチャートで描き分けた上で相モデルにて描き分けをする。		
4	【授業単元】ベースメイクアップを学ぶ・2 フェンデーションの種類、顔の立体の出し方を把握する。 【到達目標】前回学んだ、顔形による立体の取り方を踏まえて相モデルのハイライト、シェイディングを黄金比、白銀比に照らし合わせて顔形修整したフェイスチャートを作成し、リキッドファンデーションとコンシーラーを使用して立体感の表現をする。			12	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・6 チークの形、イメージを学ぶ 【到達目標】頬の立体を理解し、色や入れ方による一め一時の違い、顔の形に対しての入れ方の工夫を把握し、自分の顔形やなりたいイメージに合わせたチークをフェイスチャートに描き、相モデルでチークを施す。		
5	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・1 アイブロウ3態の形、イメージを学ぶ 【到達目標】アイブロウの基本的構造を理解し、山型・弓型・直線型、3態それぞれの形の成り立ち方、方程式また形によるイメージの違いを把握する。3態をフェイスチャートを描き分けた上で相モデルにて描き分けをする。			13	【授業単元】総合演習 スキンケア～フルメイク この授業で学んだテクニックを駆使しフルメイクを仕上げる 【到達目標】50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる *パターン・1 黄金比を踏まえたハイライト・シェイディング アイブロウ→山型 アイメイク→シングルグラデーション リップ→ストレート チーク→クール		
6	【授業単元】中間試験対策 中間試験に向けテクニックの確認を行う。 【到達目標】50分間でポイントメイククレンジング～アイブロウメイクアップをきちんと落とし、ファンデーション～モデルの顔形修整を施したハイライト・シェイディング。山型のアイブロウを左右対称に描く。			14	【授業単元】 【到達目標】50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる *パターン・1 黄金比を踏まえたハイライト・シェイディング アイブロウ→弓型 アイメイク→ダブルグラデーション リップ→アウトカーブ チーク→フェミニン		
7	【授業単元】中間試験対策 【到達目標】50分間でポイントメイククレンジング～アイブロウまでを時間内に仕上げる。きれいにクレンジングができているか顔形修整をハイライト・シェイディングで施しているか、アイブロウは指示された形を左右対称に描けているかが採点基準。			15	【授業単元】定期試験 【到達目標】50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる *パターン・1もしくはパターン・2のどちらかを14回の終礼で伝達。指示されたパターンを時間内に美しく仕上げる。		
8	【授業単元】パーツメイクを学ぶ・2 アイメイクのパターンを学ぶ・1 【到達目標】グラデーションテクニック*横シングルグラデーション 3色を3本のブラシで表現するパターン 1色を1本のブラシで表現するパターン 美しいグラデーションを作るテクニックを身につける。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	アドバイザートレーニング演習Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フルメイクの反復練習で基本的なメイク技術の向上をめざす。デモンストレーションを見てメイクプロセスやポイントを書き取りメイクレシピを作成し、セルフメイクすることでテーマメイクのポイントを確実におさえ、様々なテーマに合わせたメイクができるようになる。様々なコスメを駆使してフルメイクができるようになる。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なテーマメイクのポイントを理解し、イメージに合わせたアイテム選びをし、フルメイクで表現できる技術力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料 ノート							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ナチュラルカラーメイク①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 この授業の目的・目標を理解する。 メイクポイントノートを作成し、 カラーメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。			9	【授業単元】 クールメイク②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる		
2	【授業単元】 ナチュラルカラーメイク②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせナチュラルカラーメイクができるようになる。			10	【授業単元】 ゴージャスメイク①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 メイクポイントノートを作成し、ゴージャスメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。		
3	【授業単元】 キュートメイク(ソフト)①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 メイクポイントノートを作成し、キュートメイク(ソフト)のPointを理解しセルフメイクできるようになる。			11	【授業単元】 ゴージャスメイク②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせゴージャスメイクができるようになる。		
4	【授業単元】 キュートメイク(ソフト)②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる			12	【授業単元】 アイフォーカスメイク①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 メイクポイントノートを作成し、アイフォーカスメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。		
5	【授業単元】 キュートメイク(ポップ)①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 キュートメイク(ポップ)のPointを理解しセルフメイクできるようになる。			13	【授業単元】 アイフォーカスメイク②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせアイフォーカスメイクができるようになる		
6	【授業単元】 キュートメイク(ポップ)②相モデル実習 【到達目標】 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる			14	【授業単元】 リップフォーカスメイク解説 相モデル実習 【到達目標】 メイクポイントノートを作成し、モデルの顔に合わせリップフォーカスメイクができるようになる		
7	【授業単元】 中間試験 メイク実技 ノート提出 【到達目標】 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。			15	【授業単元】 定期試験 メイク実技 ノート提出 【到達目標】 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。		
8	【授業単元】 クールメイク①デモンストレーション セルフメイク 【到達目標】 メイクポイントノートを作成し、クールメイクのPointを理解しセルフメイクできるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	タッチアップメイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	トータルビューティ科 メイクアップコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
数ある化粧品の特徴を知り、知識を身につける事でお客様一人一人のニーズに合わせたメイクアップの提案ができるようになる。							
※外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、ミスグラッドジャパン公式メイクトレーナーを勤める。他MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
数ある化粧品の特徴を知り、知識を身につける事でお客様一人一人のニーズに合わせてメイクアップを提案する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 クレンジングについて(ポイント～全体クレンジングまで) 【到達目標】 クレンジングについての知識を身につけ、ポイント～全体クレンジングを修得する。			9	【授業単元】 お悩み解決メイク② 【到達目標】 お客様の好きな所、嫌いな所を活かし、お悩みを解決するメイクの提案方法を修得する。		
2	【授業単元】 肌タイプ別スキンケアについて 【到達目標】 肌タイプ別スキンケアの知識を身につけ、カウンセリングを行いながらお客様に合うスキンケア法の提案力を身につける。			10	【授業単元】 テーマ別メイク① 【到達目標】 指定されたテーマや年代に合わせて、お客様の条件に合ったメイクの提案力を修得する。		
3	【授業単元】 ベースメイクについて 【到達目標】 ベースメイクの作り込みについて知識を身につけ、ポイントメイクに必要なブラシの使い方、動かし方などを修得する。			11	【授業単元】 テーマ別メイク② 【到達目標】 指定されたテーマや年代に合わせて、お客様の条件に合ったメイクの提案力を修得する。		
4	【授業単元】 アイメイクについて 【到達目標】 アイメイクに特化した化粧品の特徴を知り、質感・色・形・種類など様々な知識や技術を身につけ、お客様に似合うメイクが出来るようになる。			12	【授業単元】 指定アイテム+α 製品のご提案力① 【到達目標】 指定アイテムに特化し、お客様がお探しの製品+α 製品の提案力を身につける。		
5	【授業単元】 カウンセリングフルメイク 【到達目標】 お客様の肌タイプやお好みなどのカウンセリングを行い、お客様のニーズを引き出したフルメイクを完成させる。			13	【授業単元】 指定アイテム+α 製品のご提案力② 【到達目標】 指定アイテムに特化し、お客様がお探しの製品+α 製品の提案力を身につける。		
6	【授業単元】 40分カウンセリングフルメイク 【到達目標】 カウンセリングを行いながら、お客様のニーズを引き出し、40分でフルメイクを完成させる。			14	【授業単元】 35分カウンセリング込みご提案フルメイク 【到達目標】 カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出し、お客様に合ったご提案をしながら35分フルメイクを完成させる。		
7	【授業単元】 40分カウンセリング似合わせフルメイク 【到達目標】 中間テスト:カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを40分で完成させる。			15	【授業単元】 35分カウンセリング & ご提案フルメイク 【到達目標】 定期テスト:カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出し、お客様に合ったご提案をして35分でフルメイクを完成させる。		
8	【授業単元】 お悩み解決メイク① 【到達目標】 お客様の好きな所、嫌いな所を活かし、お悩みを解決するメイクの提案方法を修得する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スキンケアタッチアップメイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	林 久美子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 2単位	開講区分	後期
学科・コース		トータルビューティ科 メイクアップコース					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
カウンセリングスキンケアアイテムの現場経験約30年の経験をふまえ、現場に近いカウンセリングができるよう指導する。							
【授業を通じての到達目標】							
4タイプの肌質を診断し、肌悩みを改善し、望む肌へと導けるスキンケアカウンセリングを5分間で実技する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 表皮・真皮・皮下組織の図を模写し、それぞれの名称・働きを覚える。 【到達目標】 表皮・真皮・皮下組織の説明ができる。			9	【授業単元】 ニキビの種類、肌状態、原因、改善策を知る。 【到達目標】 ニキビが肌悩みの方へのカウンセリングができる。プラスワンアイテム、ビューティアドバイスなど。		
2	【授業単元】 スキンケアカテゴリーについて説明・解説する。 【到達目標】 スキンケアのカテゴリー、クレンジング、洗顔、化粧水、乳液、美容液、クリームの、①種類 ②目的 ③効果を説明できる。			10	【授業単元】 毛穴の種類、肌状態、原因、改善策を知る。 【到達目標】 毛穴が肌悩みの方へのカウンセリングができる。プラスワンアイテム、ビューティアドバイスなど。		
3	【授業単元】 自らの肌を視診、問診、触診する。 【到達目標】 健康な肌(きれいな肌)の状態を理解する。視診、問診、触診ができるようになる。			11	【授業単元】 シミの種類、肌状態、原因、改善策を知る。 【到達目標】 シミが肌悩みの方へのカウンセリングができる。プラスワンアイテム、ビューティアドバイスなど。		
4	【授業単元】 相モデルでお互いの肌をカウンセリングする。 【到達目標】 スキンケアタイプ別、トラブルスキン別の特徴、問題点、改善点などを知る。			12	【授業単元】 クマの種類、肌状態、原因、改善策を知る。 【到達目標】 クマが肌悩みの方へのカウンセリングができる。プラスワンアイテム、ビューティアドバイスなど。		
5	【授業単元】 ドライスキンについての肌状態、問題点、改善点などを説明する。 【到達目標】 ドライスキンの肌状態、問題点、改善点、おすすめアイテム、使用法、クロージングを実技する。			13	【授業単元】 シワの種類、肌状態、原因、改善策を知る。 【到達目標】 シワが肌悩みの方へのカウンセリングができる。プラスワンアイテム、ビューティアドバイスなど。		
6	【授業単元】 オイリースキンについての肌状態、問題点、改善点などを説明する。 【到達目標】 オイリースキンの肌状態、問題点、改善点、おすすめアイテム、使用法、クロージングを実技する。			14	【授業単元】 相モデルでのカウンセリング 【到達目標】 通常のスキンケアカウンセリングにプラスワンアイテム、ビューティアドバイスができるようになる。		
7	【授業単元】 中間テスト:相モデルでロールプレイング 【到達目標】 5分間で、相モデルの肌をカウンセリングし、肌状態、問題点、改善点、おすすめアイテム等を紹介するロールプレイングを実技する。			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 相モデルで、肌悩みなどからなりたい肌を実現するスキンケアカウンセリングロールプレイングを5分間で実演する。		
8	【授業単元】 年代により、異なる肌悩みを理解する 【到達目標】 肌質プラス年代別肌悩みを共有する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	コスメティック研究演習Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティ科メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 2単位		後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お客様に対し適切な商品選択ができるために代表的なメイクアップ商品の種類と特徴、メイクアイテム以外の化粧品などについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】							
代表的なメイクアップ商品の種類と特徴についての知識を修得する。仕上がりや肌タイプに合わせての商品選びができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料 ノート 参考化粧品							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業内容について メイクアップベース 【到達目標】 この授業について理解する メイクアップベースの種類・特徴・使用方法を理解する			9	【授業単元】 フレグランス化粧品 【到達目標】 香水の香りの変化、香水のつけ方と注意点・香りの持続時間を理解する		
2	【授業単元】 ファンデーション 【到達目標】 ファンデーションの種類・特徴・使用方法について理解する			10	【授業単元】 フレグランス化粧品 【到達目標】 香水の主分類・副分類について理解する		
3	【授業単元】 コンシーラー・フェイスパウダー 【到達目標】 コンシーラー・フェイスパウダーの種類・特徴・使用方法について理解する			11	【授業単元】 防臭化粧品 【到達目標】 防臭化粧品の機能と種類について理解する		
4	【授業単元】 アイブロウアイテム・アイシャドウ 【到達目標】 アイブロウアイテムの種類・特徴・使用方法について理解する アイシャドウの種類・特徴・使用方法について理解する			12	【授業単元】 男性化粧品 【到達目標】 男性の肌の特徴を理解する 男性化粧品(髭剃り関連)の種類と特徴を理解する		
5	【授業単元】 アイライナー・マスカラ 【到達目標】 アイライナーの種類・特徴・使用方法について理解する マスカラの種類・特徴・使用方法について理解する			13	【授業単元】 ヘアケア商品 【到達目標】 シャンプーの界面活性剤の種類と特徴・成分を理解する リンス・コンディショナー・トリートメントの成分を理解する		
6	【授業単元】 チーク・リップアイテム 【到達目標】 チークの種類・特徴・使用方法について理解する リップアイテムの種類・特徴・使用方法について理解する			14	【授業単元】 肌トラブルと栄養素 【到達目標】 薬とサプリメントの違いを理解する 肌トラブルと有効な栄養成分について理解する		
7	【授業単元】 中間試験 メイクアイテムについて ノート提出 【到達目標】 メイクアイテムについて様々な種類と使い方を理解する			15	【授業単元】 定期試験 化粧品について ノート提出 【到達目標】 メイクアイテム以外の化粧品の種類と特徴、使用方法を理解する		
8	【授業単元】 紫外線とUV化粧品 【到達目標】 紫外線について理解する UVケア化粧品の種類・特徴・使用方法について理解する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ブランド別メイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	久保 周平
学科・コース	トータルビューティー科メイクコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
百貨店ブランドについて深く知る。							
* 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(久保)							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドイメージの模写。リサーチ力、スピーチ力を高める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習			
メイク道具一式、筆記用具、配布プリント用ファイル							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 外資系ブランド①がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			9	【授業単元】 国産ブランド③がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
2	【授業単元】 外資系ブランド②がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			10	【授業単元】 外資系ブランド④がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
3	【授業単元】 国産ブランド①がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			11	【授業単元】 2020年春メイクを説明できるようになる。 【到達目標】 各ブランドからどのようなアイテムが出るのか、情報。共有。 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
4	【授業単元】 国産ブランド②がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			12	【授業単元】 人気ブランド①がどういったブランドなのか説明できるようになる(事前にアンケートを実施。人気が高かったブランドを採用) 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
5	【授業単元】 ノンフットウェアを1行い、人前でのプレゼンテーションができるようになる。 【到達目標】 グループに別れて、調べてきたブランドのメソッドに基づいたメイクを一体仕上げる。 (1コマで打ち合わせ、1コマで実技&発表。)			13	【授業単元】 人気ブランド②がどういったブランドなのか説明できるようになる(事前にアンケートを実施。人気が高かったブランドを採用) 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
6	【授業単元】 最新のクリスマスコフレについて説明できるようになる。 【到達目標】 各ブランドからどのようなアイテムが出るのか、情報を共有。 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			14	【授業単元】 人気ブランド③がどういったブランドなのか説明できるようになる(事前にアンケートを実施。人気が高かったブランドを採用) 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 グループごとに決められたブランドのクリスマスコフレの発表。 (1コマで打ち合わせ、1コマで実技&発表。)			15	【授業単元】 定期試験(事前に自身の目指すブランドのリサーチ) 【到達目標】 30分フルメイク2分でプレゼンテーション		
8	【授業単元】 外資系ブランド③がどういったブランドなのか説明できるようになる。 【到達目標】 ブランドの成り立ちを知る。(発足の経緯やこれまでの活動、独自のプロセスやメリット) 講師によるメイクデモ。 相モデルでフルメイク。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	集中セミナー	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 優
学科・コース	トータルビューティ科 メイク分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	後期 (集中)
						曜日・時間	10月11日、10月12日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
化粧品メーカーの販売部門で責任者として経験がある担任が、現役のメイクアップアーティストの技術授業や化粧品メーカーの会社見学など、フィールドワークを中心に体験型授業を展開する							
【授業を通じての到達目標】							
学生に具体的な進路の将来像を提示することで、作品作りや就職活動など今後の学習に役立てる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 10月11 日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 集中セミナーについての説明 事前準備						
2 10月11 日	【授業単元】 フィールドワーク 【到達目標】 化粧品メーカー体験施設訪問						
3 10月11 日	【授業単元】 フィールドワーク 【到達目標】 化粧品メーカー体験施設訪問						
4 10月11 日	【授業単元】 フィールドワーク 【到達目標】 化粧品メーカー体験施設訪問						
5 10月12 日	【授業単元】 ゲスト講師技術見学 【到達目標】 化粧品メーカーのアーティストの技術を見学する 今後の学習に役立てる						
6 10月12 日	【授業単元】 ゲスト講師技術見学 【到達目標】 化粧品メーカーのアーティストの技術を見学する 今後の学習に役立てる						
7 10月12 日	【授業単元】 ゲスト講師技術見学 【到達目標】 化粧品メーカーのアーティストの技術を見学する 今後の学習に役立てる						
8 10月12 日	【授業単元】 ゲスト講師技術見学 【到達目標】 化粧品メーカーのアーティストの技術を見学する 今後の学習に役立てる			【評価について】 ●1・2年生交流会は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	ネイル検定演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 6	開講区分 曜日・時間	後期 1年3組 ○曜 1.～4時限目
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する ジェルネイル検定初級に合格する為にジェルネイルの基本的知識とを理解し、技術を修得する ジェルネイル検定中級のイクステンションとグラデーションの技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる ジェルネイル技能検定試験初級に合格できる知識を修得できている アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまでの仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			9	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル 【到達目標】 ロングイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる スカルプチュアネイルのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
2	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			10	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
3	【授業単元】小テスト40点 ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル 【到達目標】※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分で合格レベルで施術することができる			11	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(相モデル) 【到達目標】 イエローラインに合ったネイルフォームのカットを修得し、方向と角度を合わせ装着することができる(5本) アプリケーションのブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
4	【授業単元】 教材説明 ジェルの基礎知識 プレパレーション ジェルカラーリング(赤)、ジェルアート(ピーコック) 【到達目標】 ジェルの基礎知識を覚える、ジェルカラーリング、オフの手順を覚え実施する ブラシワークを模倣することができる			12	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
5	【授業単元】 ジェルイクステンション(フリーエッジ2～3mmラウンド) 【到達目標】 ショートイクステンションのネイルフォームの装着方法を理解し装着することができる イクステンションのアプリケーションから仕上げまでの手順を覚える			13	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 アプリケーションで仕上がりの形に近づける つながり考えたアプリケーション、ファイリングを理解する		
6	【授業単元】 ジェルイクステンション(フリーエッジ2～3mmラウンド) 【到達目標】 ショートイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる イクステンションのアプリケーションから仕上げまでの手順を覚える			14	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】でで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
7	【授業単元】 ジェルイクステンション(フリーエッジ2～3mmラウンド) 【到達目標】 ショートイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる イクステンションのアプリケーションから仕上げまでの手順を覚える			15	【授業単元】定期試験60点 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】でで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
8	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ・10月7日(月)～10(木)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・10月13日(日)ネイリスト技能検定試験2級受験							

科目名 (英)	フラット&3Dアート演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	後期 1年3組 ○曜 1.～3時限目
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ネイリスト技能検定2級に合格するために サロンワークに適用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】 ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シェイニングまで仕上げることができる エンボス、3Dの違いを把握し、ブラシワークを覚え模倣することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			9	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル 【到達目標】 ロングイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる スカルプチュアネイルのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
2	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			10	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
3	【授業単元】小テスト40点 ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル 【到達目標】※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分で合格レベルで施術することができる			11	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(相モデル) 【到達目標】 イエローラインに合ったネイルフォームのカットを修得し、方向と角度を合わせ装着することができる(5本) アプリケーションのブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
4	【授業単元】 ブラシの下ろし方、エンボスアート 【到達目標】 ブラシ下ろし方を修得する エンボスと3Dの違いを理解する ミクスチュアの取り方を模倣によって修得する 丸花、尖り花、ブックリハート、バラ&リーフの其々のバランスを覚え作成することができる			12	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
5	【授業単元】 3Dアート 【到達目標】 バラの作成手順を覚え、バランス良く作成することができる 3Dの装着方法を覚える			13	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 アプリケーションで仕上がりの形に近づける つながりを考えたアプリケーション、ファイリングを理解する		
6	【授業単元】 1級アート 【到達目標】 検定に準じたミックスメディアアート【バラ】の構成を決め、治具を使用しチップに作成する			14	【授業単元】 チップ&オーバーレイ ミックスメディアアート 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 ミックスメディアアート【60分】をで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
7	【授業単元】 1級アート 相モデル 【到達目標】 検定に準じたミックスメディアアート【バラ】を、繊細に仕バランス良く上げることができる			15	【授業単元】定期試験60点 チップ&オーバーレイ ミックスメディアアート 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 ミックスメディアアートを【60分】で施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
8	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ・10月7日(月)～10(木)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・10月13日(日)ネイリスト技能検定試験2級受験							

科目名 (英)	ジェルネイル演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	後期 1年3組 ○曜 1.～3時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格するために サロンワークに適用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める 基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シェイニングまで仕上げることができる ジェルアートのグラデーション、カラーフレンチをムラなくバランス良く仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			9	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル 【到達目標】 ロングイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる スカルプチュアネイルのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
2	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている			10	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
3	【授業単元】小テスト40点 ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル 【到達目標】※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分で合格レベルで施術することができる			11	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(相モデル) 【到達目標】 イエローラインに合ったネイルフォームのカットを修得し、方向と角度を合わせ装着することができる(5本) アプリケーションのブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
4	【授業単元】 ジェルグラデーション (チップ→相モデル) 【到達目標】 タッピングの技法を修得する 濃淡を意識し、ムラなくプレートの3分の2で仕上げる 複数本のバランスを合わせる			12	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる		
5	【授業単元】 ジェルグラデーション (チップ→相モデル) 【到達目標】 グラデーションブラシの技法を修得する 濃淡を意識し、ムラなくプレートの3分の2で仕上げる 複数本のバランスを合わせる			13	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 アプリケーションで仕上がりの形に近づける つながりを考えたアプリケーション、ファイリングを理解する		
6	【授業単元】 ジェルフレンチカラーリング (チップ→相モデル) 【到達目標】 ブラシワークを修得する ムラなく仕上げ、左右対称に描き、トップエンドを鋭角に仕上げる 複数本のバランスを合わせる			14	【授業単元】 チップ&オーバーレイ ミックスメディアアート 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 ミックスメディアアート【60分】をで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
7	【授業単元】 ジェルフレンチカラーリング (相モデル) 【到達目標】 ブラシワークを修得する ムラなく仕上げ、左右対称に描き、トップエンドを鋭角に仕上げる 複数本のバランスを合わせる			15	【授業単元】定期試験60点 チップ&オーバーレイ ミックスメディアアート 【到達目標】 チップオーバーレイ2本 ミックスメディアアートを【60分】で施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている		
8	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ・10月7日(月)～10(木)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・10月13日(日)ネイリスト技能検定試験2級受験							

科目名 (英)		イクステンション演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員
			授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間
学科・コース		トータルビューティー科				曜日・時間	後期 1年3組 ○曜 1.～3時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに適用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験官経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】 ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □					【授業外における学習】		
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要	
1	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指) 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている				9	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル 【到達目標】 ロングイクステンションのネイルフォームの方向を理解し装着することができる スカルプチュアネイルのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる	
2	【授業単元】 ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ 【到達目標】 ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーを正しく操作することができる プッシュバック、プッシュアップが出来ている ルースキューティクルが処理できている カラーリングは皮膚への付着がなくムラがなくライン取りができている チップラップは厚みが均一、ハイポイントの位置が中央にあり、表面は光沢がありスムーズに仕上がっている				10	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる	
3	【授業単元】小テスト40点 ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル 【到達目標】※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分で合格レベルで施術することができる				11	【授業単元】 アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(相モデル) 【到達目標】 イエローラインに合ったネイルフォームのカットを修得し、方向と角度を合わせ装着することができる(5本) アプリケーションのブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる	
4	【授業単元】 アクリル教材説明、検定シール貼付、ブラシの下ろし方、ミクスチュア作成 【到達目標】 アクリル教材を覚える、検定シール貼付を実施する、アクリルネイルの基礎知識を修得する ミクスチュアの作成方法(大、中、小) 1cm×1cm厚み1mmにプレスしたミクスチュアの大きさを覚える				12	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ(相モデル) 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる	
5	【授業単元】 アクリル フローター チップ(ショート、ロング) 【到達目標】 フローターのブラシワークを覚え、表面をスムーズになるようにアプリケーションできる				13	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 アプリケーションで仕上がりの形に近づける つながりを考えたアプリケーション、ファイリングを理解する	
6	【授業単元】 アクリル フローター チップ(ショート、ロング) 【到達目標】 フローターのブラシワークを覚え、表面をスムーズになるようにアプリケーションできる シャイニングまで実施する				14	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 チップオーバーレイ1本 スカルプチュア2本【60分】でで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている	
7	【授業単元】 アクリル フローター 相モデル 【到達目標】 フローターのブラシワークを覚え、表面をスムーズになるようにアプリケーションできる シャイニングまで実施する				15	【授業単元】定期試験60点 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル 【到達目標】 チップオーバーレイ1本 スカルプチュア2本【60分】でで施術することができる フォルムが正しく形成され、表面が滑らかにつながっている	
8	【授業単元】 アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ 【到達目標】 ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる オーバーレイのアプリケーションの手順を覚え、ブラシワークを模倣によって修得し、実施することができる				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		
【特記事項】 ・10月7日(月)～10(木)の期間、授業は検定対策※モデル同伴可能 ・10月13日(日)ネイリスト技能検定試験2級受験							

科目名 (英)	ネイル検定対策	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	後期 (集中)
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定3級に合格する為に 基本的なネイルケア、リペアの知識を理解し技術を修得する ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイルケアの基本的技術の反復学習により検定試験合格を目指す							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材:ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ネイリスト技能検定3級の規定内容を理解する 検定対策の流れを知る						
2	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
3	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
4	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
5	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
6	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
7	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習						
8	【授業単元】 実技演習 【到達目標】 検定対策技術練習			【評価について】 ●ネイル検定対策は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	特別授業	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 3	開講区分	後期 (集中)
学科・コース	トータルビューティー科 ネイル分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
展示会の見学を通じて最新技術の習得や材料、機材に触れネイルに関する知識を拡充させ、ディスカッションにより知識を定着させる ※日本ネイリスト協会 本部認定講師 JNECネイリスト技能検定試験管経験者が実施							
【授業を通じての到達目標】							
ネイルエキスポの見学を通じて最新技術の習得や材料、機材に至る知識を拡充する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ネイルエキスポの概要説明 見学テーマの設定			9	【授業単元】 ネイルエキスポ特別講演聴講 【到達目標】 現役のトップネイリストによる技術講演を聴講する		
2	【授業単元】 ネイルエキスポ見学 【到達目標】 自由見学			10	【授業単元】 ネイルエキスポ特別講演聴講 【到達目標】 現役のトップネイリストによる技術講演を聴講する		
3	【授業単元】 ネイルエキスポ見学 【到達目標】 自由見学			11	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル材料のワークショップに参加し施術体験をする		
4	【授業単元】 ネイルエキスポ見学 【到達目標】 自由見学			12	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル材料のワークショップに参加し施術体験をする		
5	【授業単元】 ネイルエキスポ特別講演聴講 【到達目標】 現役のトップネイリストによる技術講演を聴講する			13	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル材料のワークショップに参加し施術体験をする		
6	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル技術のワークショップに参加し施術体験をする			14	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル材料のワークショップに参加し施術体験をする		
7	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル技術のワークショップに参加し施術体験をする			15	【授業単元】 ディスカッション 【到達目標】 ネイルエキスポの振り返りと気づきの共有		
8	【授業単元】 ワークショップ参加 【到達目標】 最新ネイル技術のワークショップに参加し施術体験をする			【評価について】 ●ネイルエキスポ参加による出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	皮膚学	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
皮膚の基本知識を深め、肌質に合わせて適切なお手入れ方法や推奨トリートメントなどアドバイスができるようになる。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
皮膚の働きと仕組みを理解し、肌質にあったスキンケア方法や肌を美しく健康に保つための基礎知識を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AEA皮膚科学、新エステティック学理論							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 皮膚の構造 AEAP.6~13 新エステティックP.126~130 【到達目標】 皮膚の表面と表皮の構造を理解する			9	【授業単元】 肌の老化とケア(加齢・紫外線・シワ) AEAP.74~84 新エステティックP.162~176 【到達目標】 肌トラブルの原因とケア方法を理解する		
2	【授業単元】 皮膚の構造 AEAP.14~19 新エステティックP.126~130 【到達目標】 真皮、皮下組織の構造を理解する			10	【授業単元】 シミ・その他の老化現象 AEAP.85~90 新エステティックP.162~176 【到達目標】 肌トラブルの原因とケア方法を理解する		
3	【授業単元】 皮膚の付属器官 AEAP.20~30 新エステティックP.126~130 【到達目標】 皮膚の付属器官と働きを理解する			11	【授業単元】 敏感肌と皮膚疾患 AEAP.94~107 新エステティックP.177~183 【到達目標】 肌トラブルの原因とケア方法を理解する		
4	【授業単元】 皮膚の生理機能と皮膚の働き AEAP.34~41 新エステティックP.135~150 【到達目標】 皮膚の生理機能と働きを理解する			12	【授業単元】 ニキビ、その他 AEAP.108~124 新エステティックP.177~183 【到達目標】 肌トラブルの原因とケア方法を理解する		
5	【授業単元】 肌トラブルの要因(ストレス・自律神経・ホルモン・免疫) AEAP.46~53 新エステティックP.151~154 【到達目標】 美しい肌を保つため肌トラブルの要因を理解する			13	【授業単元】 肌分析 新エステティックP.195~205 【到達目標】 肌タイプを理解し、肌を見極める項目を知る		
6	【授業単元】 肌トラブルの要因(内臓・血液循環・栄養・生活習慣・ケア) AEAP.54~64 新エステティックP.151~154 【到達目標】 美しい肌を保つため肌トラブルの要因を理解する			14	【授業単元】 肌分析、コンサルテーション 新エステティックP.195~205 【到達目標】 肌タイプを理解し、コンサルテーションシートが記入できるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 筆記試験			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 筆記試験		
8	【授業単元】 肌タイプとタイプ別スキンケア AEAP.65~70 新エステティックP.151~154 【到達目標】 肌タイプとスキンケアを理解する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	解剖生理学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
学科・コース	トータルビューティ科 エステ・ビューティセラピーコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとして施術に必要な骨格、筋肉、循環器系、神経系について学ぶ ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が							
【授業を通じての到達目標】							
ボディ実技と連動して理解でき、コンサルテーションに反映できるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AEAテキスト「解剖生理学」／日本エステティック協会選択科目							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 骨と筋肉の1.役割 2.機能 3.構造 【到達目標】 全身の骨、筋肉について学ぶ			9	【授業単元】 内分泌系 ホルモン② 【到達目標】 性ホルモン、副腎について覚える		
2	【授業単元】 関節運動と筋肉の関係 【到達目標】 骨と筋肉の連動運動について知る			10	【授業単元】 免疫系 【到達目標】 免疫の1.仕組み 2.種類 3.機能 4.役割について覚える		
3	【授業単元】 循環器系の役割 【到達目標】 血液、血管の構造、機能、役割を覚える			11	【授業単元】 呼吸器、泌尿器系 【到達目標】 肺、腎臓の1.構造 2.機能 3.役割について覚える		
4	【授業単元】 循環器系 リンパの役割、働き 【到達目標】 リンパの1.構造 2.機能 3.循環 4.むくみについて覚える			12	【授業単元】 消化器系① 【到達目標】 口腔、咽頭、食道、胃について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
5	【授業単元】 神経系 中枢神経 【到達目標】 1.神経系の種類 2.脳の構造 3.脳の働きについて覚える			13	【授業単元】 消化器系② 【到達目標】 肝臓、小腸、大腸、肛門について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
6	【授業単元】 神経系 末梢神経 【到達目標】 1.自律神経 2.体性神経について覚える			14	【授業単元】 代謝と体温 【到達目標】 代謝の調節、体熱生産・放散、体温調整について覚える		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筋・骨格、循環器、神経系より四択問題及び記述式試験			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 内分泌系、免疫系、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝についての四択問題および記述式試験		
8	【授業単元】 内分泌系 ホルモン① 【到達目標】 ホルモンの1.構造 2.機能 3.役割について覚える 甲状腺、膵臓、成長ホルモンについて覚える			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	エステティック理論Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ・ビューティセラピーコース					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとしてホームケアアドバイスができるようになる為の基礎知識をつける (栄養学・化粧品学・運動生理学) ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当します							
【授業を通じての到達目標】							
エステティシャンとしてホームケアアドバイス(食事、運動、化粧品)ができるようになる 資格取得検定にて必要なコンサルテーションシートにアドバイスが記載できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AEAテキスト、新エステティック学 理論編Ⅱ							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 栄養学① 【到達目標】 ・5大栄養素、栄養素の種類を知る			9	【授業単元】 運動生理学② 【到達目標】 ・運動と代謝、運動とアンチエイジングについて知る		
2	【授業単元】 栄養学② 【到達目標】 ・栄養価 栄養所要量を知る ・食物摂取とその消化吸収 栄養学からみた食品を知る			10	【授業単元】 運動生理学③ 【到達目標】 ・運動時の姿勢やポジショニングについて知る		
3	【授業単元】 栄養学③ 【到達目標】 ・健康と栄養の関わりについて理解する ・肥満の判定について知る			11	【授業単元】 運動生理学④ 【到達目標】 ・運動を実践し、筋肉の動き方、使い方を知る		
4	【授業単元】 栄養学④ 【到達目標】 ・中老年期の栄養摂取について知る ・サプリメントの摂取方法について知る ・食品添加物について知る			12	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践① 【到達目標】 お客様のお肌悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
5	【授業単元】 化粧品学① 【到達目標】 ・化粧品の基礎知識を学ぶ ・フェイシャル化粧品について知る			13	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践② 【到達目標】 お客様のお体悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
6	【授業単元】 化粧品学② 【到達目標】 ・化粧品の目的を理解する ・ボディ化粧品について知る			14	【授業単元】 ホームケアアドバイス③ 【到達目標】 お客様のお肌、お体の様々な悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
7	【授業単元】 栄養学・化粧品学復習 【到達目標】 ・食事、化粧品についてホームケアアドバイスが出来るようになる			15	【授業単元】 コンサルテーションシート作成 【到達目標】 お客様の悩みに応じたホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入できる		
8	【授業単元】 運動生理学① 【到達目標】 ・運動の必要性 運動の効果 筋肉について知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	フェイシャル演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティー科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フェイシャルエステティックの流れの目的・効果・禁忌事項などが理解できたうえでトリートメントが提供できるようになる。また今後の資格試験の実技試験に合格するための技術、知識を身につける ※AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンの各協会の試験官としての資格を持ち、専門学校内だけでなく一般受験者の試験官となる							
【授業を通じての到達目標】							
フェイシャルのエステティックのクレンジング～ディープクレンジング～マッサージ～パックの一連の流れができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AJESTHE教科書技術編							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 フェイシャルエステティックについて、一連の流れ、準備の仕方、ポイントクレンジングについて 【到達目標】 セッティング～誘導～ターバン巻き～ポイントメイク落としの流れができるようになる			9	【授業単元】 ディープクレンジング(ゴマージュ粒子なし) 【到達目標】 ディープクレンジング(粒子なし)について理解できるようになる		
2	【授業単元】 クレンジング、拭き取り 【到達目標】 ポイントメイク落とし～クレンジング～スポンジ、コットン、スチームタオルでの拭き取りができるようになる			10	【授業単元】 ディープクレンジング(酵素) スチーマーの使用法 【到達目標】 ディープクレンジング(酵素)について理解できるようになる		
3	【授業単元】 フェイシャルマッサージについて(6手技について) フェイシャルマッサージ軽擦法 【到達目標】 クレンジング～マッサージの軽擦法ができるようになる			11	【授業単元】 ディープクレンジング(吸引) 【到達目標】 ディープクレンジング(吸引)について理解できるようになる		
4	【授業単元】 フェイシャルマッサージ強擦法、揉捻法 【到達目標】 マッサージの強擦法、揉捻法ができるようになる			12	【授業単元】 ディープクレンジング(ブラシクレンジング) 【到達目標】 ディープクレンジング(ブラシクレンジング)について理解できるようになる		
5	【授業単元】 フェイシャルマッサージ打法、振動法、圧迫法、軽擦法 (9) 13点指圧 【到達目標】 マッサージの打法、振動法、13点指圧ができるようになる			13	【授業単元】 ディープクレンジング(エレクトロクレンジング) 【到達目標】 ディープクレンジング(ブラシクレンジング)について理解できるようになる		
6	【授業単元】 パック 【到達目標】 クレンジング～マッサージ～パックの流れが出来るようになる			14	【授業単元】 フェイシャル一連の流れ 【到達目標】 クレンジング～ディープクレンジング～マッサージ～パックの一連の流れができるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 クレンジング～拭き取り～フェイシャルマッサージ～パックの一連の流れ			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 クレンジング～ディープクレンジング～マッサージ～パック		
8	【授業単元】 ディープクレンジング(ゴマージュ粒子あり) 【到達目標】 ディープクレンジング(粒子あり)について理解できるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ボディ演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ハンド・機器テクニックによるボディトリートメントの基礎を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
ボディの観察(ボディチェック)、マッサージを修得する。正しく安全にボディ機器を操作する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
日本エステティック協会『新エステティック学-技術編Ⅰ』、ボディ実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】腰背部ボディマッサージについて(P,77～80) 【到達目標】 腰背部の注意点(揉捏法・打法の強さ、筋肉の位置)を理解し、マッサージできるようになる			9	【授業単元】サクションについて 上半身(腰背部・上肢・腹部) 【到達目標】 全身のリンパの流れを理解し、サクションを行うことができる。		
2	【授業単元】上肢ボディマッサージについて(P,83～85) 【到達目標】 下肢との違いを理解し、マッサージできるようになる			10	【授業単元】バイブレーターについて(P,60～62) バイブレーターの目的と効果、下肢のトリートメント 【到達目標】 バイブレーターの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。		
3	【授業単元】腹部・デコルテマッサージについて(P,86～90) 【到達目標】 腹部、デコルテの筋肉を理解しながらマッサージを行う。力加減を意識して行う。			11	【授業単元】バイブレーターについて 上半身(腰背部・上肢・腹部) 【到達目標】 アタッチメントの使用目的を理解し、正しく施術することができる。		
4	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について(P,55・91～94) 【到達目標】 ボディチェック(採寸・筋肉・脂肪・姿勢その他トラブル等)ができるようになる。			12	【授業単元】コンサルテーションシートについて 【到達目標】 コンサルテーションシートを用い、ボディチェックに基づき施術内容を組み立てられるようになる。		
5	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について ボディマッサージについて 【到達目標】 ボディチェックをスムーズに行うことができる。ボディマッサージを強弱・リズム・密着・姿勢を意識し行うことができる。			13	【授業単元】ボディ機器について 【到達目標】 それぞれの機器の特徴を理解し、ボディタイプに合わせたトリートメントを行うことができる。		
6	【授業単元】ボディマッサージの一連の流れについて 【到達目標】 全身のマッサージがテキストを見ずにスムーズにできるようになる。			14	【授業単元】ボディエステティックの流れ コンサルテーションシ～ボディ機器～仕上げ 【到達目標】 ボディエステティックの流れが時間を意識して行えるようになる		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 ご案内～全身のマッサージ～拭き取りの一連の流れ			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～コンサルテーション(ボディチェック含む)～ボディ機器～仕上げの一連の流れ		
8	【授業単元】ボディ機器について 吸引(サクション)の目的と効果、下肢のトリートメント(P,63) 【到達目標】 サクションの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	トリートメント演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
様々なハンドテクニックを学ぶために、各種ハンドテクニックを理解し、技術の修得をする ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し、接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・ボディ実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】パーツケア(下肢)のケアについて むくみに対してのトリートメント・バンテージの目的効果 【到達目標】 下肢のむくみに対してのケアができるようになる			9	【授業単元】タラソテラピーについて 下肢のトリートメント 【到達目標】 周囲を汚さず、スムーズに塗布・除去ができるようになる		
2	【授業単元】パーツケア(下肢)のケアについて 可脂肪・セルライトに対してのトリートメント 【到達目標】 下肢の可脂肪・セルライトに対してのケアができるようになる。バンテージがスムーズに巻けるようになる。			10	【授業単元】アーユルヴェーダについて タイプに合わせたケア 【到達目標】 アーユルヴェーダについて理解を深め、タイプに合わせたケア・マッサージができるようになる。		
3	【授業単元】パーツケア(腰背部)のケアについて 背中・二の腕のスクラブ、腰背部のマッサージ 【到達目標】 背中のトリートメント(悩みの改善)ができるようになる。マッサージの力加減、リンパの流れを理解しトリートメントすることができる			11	【授業単元】リフレクソロジー 反射区について・リフレクソロジー(途中) 【到達目標】 リフレクソロジー(反射区)を理解し、施すことができるようになる		
4	【授業単元】デコルテ・ヘッドマッサージについて 【到達目標】 デコルテマッサージ・ヘッドマッサージができるようになる			12	【授業単元】リフレクソロジー 【到達目標】 リフレクソロジーの強さ(圧の加え方)スピードを身につけ、施すことができるようになる。		
5	【授業単元】デコルテ・ヘッドマッサージについて 【到達目標】 デコルテの筋肉、ヘッドの筋肉・ツボを理解し適度な力加減でマッサージすることができる			13	【授業単元】リフレクソロジー 【到達目標】 リフレクソロジーのテキストを見ずに施術ができるようになる。		
6	【授業単元】下肢・デコルテ～ヘッドについて 下肢(悩みに合わせたケア)・デコルテ・ヘッドマッサージ 【到達目標】 それぞれのパーツの目的・効果を理解し、お客様のお悩みに合わせたトリートメントができるようになる			14	【授業単元】タラソテラピー・リフレクソロジーについて 【到達目標】 ドーシャタイプ(アーユルヴェーダ理論)を踏まえ、トリートメントできるようになる。的確なアドバイス(生活習慣・食事等)ができるようになる		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～パーツケア(下肢マッサージ)～バンテージ～デコルテ・ヘッドマッサージ～仕上げまでの一連の流れ			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～タラソテラピー～リフレクソロジー～仕上げまでの一連の流れ		
8	【授業単元】タラソテラピーについて 目的・効果・注意点について、腰背部のトリートメント 【到達目標】 タラソテラピーを理解を深め、トリートメント方法を修得する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッション概論 Fashion outline	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	前嶋 直哉
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ファッション分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う							
※講師: エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、基本的なファッション知識の習得とファッション業界についての業務内容などを理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 【到達目標】 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする			9	【授業単元】 ショップリサーチ(実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る) 【到達目標】 ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る		
2	【授業単元】 ファッションの業態を知ることによってファッションの幅を知る 【到達目標】 ファッション、小売店舗の種類の理解してファッション業界の幅を知る			10	【授業単元】 ファッション業界の基本シーズンの理解 【到達目標】 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。		
3	【授業単元】 ファッション業界についての業務理解① 【到達目標】 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 (業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る)			11	【授業単元】 ファッショントレンドの流れを理解して、アライン、フロントの役割を理解する 【到達目標】 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する		
4	【授業単元】 ファッション業界についての理解② 【到達目標】 MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。			12	【授業単元】 ファッショントレンドの流行色の理解を深める 【到達目標】 トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する		
5	【授業単元】 ファッション業界についての理解③ 【到達目標】 PR(プレス)、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。			13	【授業単元】 ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 【到達目標】 5大コレクションの流れ(メンズ、ウィメンズ)とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する		
6	【授業単元】 ファッション業界についての理解④ 【到達目標】 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。(ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解)			14	【授業単元】 定期テスト準備 【到達目標】 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 筆記テスト(50分)、回答(10分) ファッション業界についての業務、職務内容についての説明			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筆記テスト(60点)、回答(20分) ファッション、トレンドについての用語説明など		
8	【授業単元】 雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する 【到達目標】 コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える(「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る)			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	実践エステ演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	白山 かがり
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロのエステティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ 各種テクニックを理解し、技術の習得を目指す ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し、接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 お客様を迎える準備、接客、誘導、ご案内 【到達目標】 清潔なベットセッティング、エステティシャンとしての接客、安心感のある誘導、ご案内を学び、実践できるようになる ファーストタッチでお客様に満足を与えられるようになる			9	【授業単元】 コースメニューの実践、コース紹介ツールについて 【到達目標】 メニューの紹介方法を学び、実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、クリーム)		
2	【授業単元】 フェイシャル技術の基本 【到達目標】 アイコットの置き方、コットのあて方を学び、実践できるようになる 化粧品の塗布方法を学び、実践できるようになる ご案内→施術→誘導の流れがスムーズに出来るようになる			10	【授業単元】 コースメニューの実践、コース紹介ツールの使い方 【到達目標】 メニューの紹介方法を工夫して実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、バンテージ、クリーム)		
3	【授業単元】 フェイシャルマスクについて(形状:ジェルマスク) 【到達目標】 マスクの効果について学び、塗布、拭き取りが出来るようになる ご案内→施術(マスク、整肌)→誘導の流れがスムーズに出来るようになる			11	【授業単元】 コースメニューの実践、コース紹介ツール作成 【到達目標】 メニューの紹介方法を工夫して実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、バンテージ、クリーム)		
4	【授業単元】 フェイシャルマスクについて(形状:クリームマスク) 【到達目標】 マスク塗布、拭き取りがスムーズに実践出来るようになる ご案内→施術(マスク、整肌)→誘導の流れを工夫して出来るようになる			12	【授業単元】 外部のお客様に対してコースメニューの実践、コース紹介を行う 【到達目標】 メニューの紹介方法を工夫して実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、バンテージ、クリーム)		
5	【授業単元】 フェイシャルマスクについて(形状:クレイマスク) 【到達目標】 マスク塗布、拭き取りがスムーズに実践できるようになる ご案内→施術(マスク、整肌)→誘導の流れを工夫して出来るようになる			13	【授業単元】 外部のお客様に対してコースメニューの実践、コース紹介を行う 【到達目標】 メニューの紹介方法を工夫して実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、バンテージ、クリーム)		
6	【授業単元】 ボディパックについて(発熱パック) 【到達目標】 ボディ用発熱パックについて学び、安全にかつ適切にお客様に施すことが出来るようになる			14	【授業単元】 外部のお客様に対してコースメニューの実践、コース紹介を行う 【到達目標】 メニューの紹介方法を工夫して実践できるようになる コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、バンテージ、クリーム)		
7	【授業単元】 ※中間テスト ボディパックについて(発熱パック) 【到達目標】 試験内容:フェイシャルマスク→拭き取り→整肌 オプション:ボディパック(発熱パック)			15	【授業単元】定期テスト お客様に対してコースメニューの実践、コース紹介を行う 【到達目標】 エステティシャンとして時間内に接客、技術を提供し安心かつ適切なエステティックを提供することができる		
8	【授業単元】 コースメニューの実践 【到達目標】 コース内容を一連の流れで行うことができるようになる フェイシャルマスク→足裏パック→下肢前面トリートメント(スクラブ、クリーム)			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッションメイキング基礎講座 Fashion making I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科・ファッション分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
スタイリストとして各種雑誌やアーティストの衣装スタイリング・制作を行い、その後は洋服だけではなくグッズデザイン・インテリアスタイリングなども行い活動の幅は多岐にわたる講師が洋裁の基本技法とミシンの使い方を教え、洋服の構成、接客やショーのバックヤードに於ける 裾上げ・袖の調整などの微調整技術と知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
洋裁技法を組み合わせ、リメイクあるいは小物作品を仕上げることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント教材、裁縫セット							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ポーチを作る1-1 【到達目標】 布を扱った装飾技法(ギャザーとプリーツ)。ポケットの作り方を理解する事ができる 持ち物:裁縫セット、バンダナ1枚(切って使い)			9	【授業単元】 リメイクデザイン2-1 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 リメイクデザイン(1)からの発展とし、デザイン画からリメイク作品を作ることができる		
2	【授業単元】 ポーチを作る1-2 【到達目標】 布を扱った装飾技法(ギャザーとプリーツ)。ポケットの作り方を理解する事ができる 持ち物:裁縫セット、バンダナ1枚(切って使い)			10	【授業単元】 リメイクデザイン2-2 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 リメイクデザイン(1)からの発展とし、デザイン画からリメイク作品を作ることができる		
3	【授業単元】 ポーチを作る2 【到達目標】 芯地、袋縫い、返し縫い、まつり縫い 等についての知識を得る。 持ち物:裁縫セット、手ぬぐい1本、マジックテープ(25cm/1セット)、片面接着芯			11	【授業単元】 リメイクデザイン2-3 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 リメイクデザイン(1)からの発展とし、デザイン画からリメイク作品を作ることができる		
4	【授業単元】 ポーチを作る(4) 【到達目標】 ボタン(4種類)の付け方と包みボタンについて理解する。ボタンホールステッチ などを習得する。			12	【授業単元】 リメイクデザイン3-1 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 リメイクデザイン(2)からの発展とし、デザイン画からリメイク作品を作ることができる		
5	【授業単元】 くまちゃんを作る(1) 【到達目標】 ボタン(4種類)の付け方と包みボタンについて理解し、ボタンホールステッチ などを習得する。布をバイアスに扱う実習。			13	【授業単元】 リメイクデザイン3-2 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 リメイクデザイン(2)からの発展とし、デザイン画からリメイク作品を作ることができる		
6	【授業単元】 くまちゃんを作る(2) 【到達目標】 ボタン(4種類)の付け方と包みボタンについて理解し、ボタンホールステッチ などを習得する。布をバイアスに扱う実習。			14	【授業単元】 定期テスト予行 【到達目標】 リメイクデザイン作品によるファッションショーの準備を行う		
7	【授業単元】 中間テスト(20点) 【到達目標】 1～6回目の授業の総復習を行う			15	【授業単元】 定期テスト(60点) リメイクデザイン作品によるファッションショー		
8	【授業単元】 リメイクデザイン(1) 【到達目標】 リメイクデザインを考える事で、洋服の構造を知ることができる。 トップスはTシャツを使用することとし、ボトムスのアイテムは自由にデザイン画を作成する。持ち物:筆記用具。リメイクに使用予定アイテムの実物			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	接客販売ロールプレイ Sales roll play	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂本龍一
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース		トータルビューティ科ファッション分野					
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
接客販売トレーニング&コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける							
【授業を通じての到達目標】							
・店頭において接客販売が一人前にできる状態を目指す							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
・SC協会DVD ・接客会話攻略ハンドブック							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 入社後の目標確認/接客販売の仕事理解/購買行動の変化 【到達目標】 ファッション業界で行われる接客の必要性・重要性を理解する お客様の購買行動の変化を知る			9	【授業単元】 ニーズとウォンツ/ニーズの引き出し方/お客様への質問の仕方 【到達目標】 ニーズとウォンツを理解し、ヒアリングができるようになる		
2	【授業単元】 体験事例共有/購買心理/求められる販売行動 【到達目標】 接客販売への理解/ショップの年間の流れを理解する お客様の購買心理と購買行動を知る			10	【授業単元】 提案（プレゼンテーション）のポイント/買いたくなる提案の仕方 【到達目標】 提案力を身につけ、商品提案ができるようになる		
3	【授業単元】 接客用語/敬語/店頭用語/立ち居振る舞いについて 【到達目標】 接客販売基礎を学び接客の基礎を実践出来るようになる			11	【授業単元】 クロージング/販売員主導の接客とお客様主導の接客/お見送り作法 【到達目標】 クロージングとお見送りを学び、接客を完結させられるようになる		
4	【授業単元】 接客用語（外語学） 【到達目標】 外国語での販売基礎を学び、多様なお客様に対応ができるようになる			12	【授業単元】 リピーターを作る重要性/リピーターを作る仕組み 【到達目標】 リピーターづくりを学び、継続的な売上確保が必要な重要性を知る		
5	【授業単元】 表情・挨拶・待機姿勢/店頭での動き方（ロールプレイ） 【到達目標】 第一印象の重要性を知る/第一印象良く過ごせるようになる			13	【授業単元】 接客ロールプレイ演習 【到達目標】 ロールプレイ演習実技（入店～お見送りまで）ができるようになる		
6	【授業単元】 ウォッチング/ファースト&セカンドアプローチ（ロールプレイ） 【到達目標】 ウォッチング（観察）とアプローチを知ることができる			14	【授業単元】 定期試験準備 【到達目標】 ロールプレイ演習実技の復習（入店～お見送り） 定期試験準備		
7	【授業単元】 筆記テスト/ロールプレイ演習実技（各自2分間ずつ） 【到達目標】 中間テスト（20点） 接客基礎と考え方の確認			15	【授業単元】 ロールプレイ演習実技試験（各日1時間9分）/実技パフォーマンス 【到達目標】 定期試験（60点）		
8	【授業単元】 メリット・デメリット・ベネフィット/セリングポイント 【到達目標】 商品説明・紹介トークができるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スタイリング演習 Dandypractice	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース		トータルビューティ科ファッション分野					
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
講師経緯：ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教えまた、スタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
お客様にあったスタイリングを提案し的確なコーディネートを組み立てることができる。また、スタイリングについての理解を深め実践出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
・SC協会DVD ・接客会話攻略ハンドブック							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 科目オリエンテーション 【到達目標】 1回目～12回目までの授業の流れを確認し授業の目的を理解できる			9	【授業単元】 トレンドスタイリング② 【到達目標】 トレンドアイテム（ボトムス）を取り入れたコーディネート进行習する		
2	【授業単元】 ターゲット別コーディネート① 【到達目標】 10～20代をターゲットにしたコーディネート进行習得できるようにする			10	【授業単元】 トレンドスタイリング③ 【到達目標】 トレンドアイテム（小物）を取り入れたコーディネート进行習する		
3	【授業単元】 ターゲット別コーディネート② 【到達目標】 20～30代をターゲットにしたコーディネート进行習得できるようにする			11	【授業単元】 スタイリストワーク① 【到達目標】 スタイリストとしての現場での働き方を理解する		
4	【授業単元】 ターゲット別コーディネート③ 【到達目標】 40代以上をターゲットにしたコーディネート进行習得できるようにする			12	【授業単元】 スタイリストワーク② 【到達目標】 スタイリストとしての現場での働き方を実践し習得することができる		
5	【授業単元】 マテリアル別コーディネート① 【到達目標】 素材によるコーディネート进行習素材別の提案を習得する			13	【授業単元】 テストに向けての準備① 【到達目標】 1回目～12回目までの内容を総復習し、スタイリング・プレゼンチェックを行い理解を深める		
6	【授業単元】 マテリアル別コーディネート② 【到達目標】 素材によるコーディネート进行習素材別の提案を習得する			14	【授業単元】 テストに向けての準備② 【到達目標】 1回目～12回目までの内容を総復習し、スタイリング・プレゼンチェックを行い理解を深める		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 1回目～6回目までの内容の総復習をし、コーディネートに対する理解を深める事ができる			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 1回目～14回目までの総復習を行い授業全体の理解を深める事ができる。		
8	【授業単元】 トレンドスタイリング① 【到達目標】 トレンドアイテム（トップス）を取り入れたコーディネート进行習する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	トレンドリサーチ Trend research	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	前嶋 直哉
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科ファッション分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するために必要な情報発信やリサーチ方法を習得し、それを現場で活かしていく知識と実践方法を習得する							
※講師: エストネーションカンパニーにて管理職として就業中、マーケットのトレンド、ニーズに合わせた売り場作りや商品企画などを実践。							
【授業を通じての到達目標】							
マーケティングの基礎を学ぶことでファッション業界全般(アパレル、服飾雑貨、ヘアメイクなど)のトレンドの把握、理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 トレンド発信についての理解 【到達目標】 トレンドの情報発信はどこから行われているのか、各ブランド、メーカーはどのようにトレンドを作り出しているのかを理解理解する。			9	【授業単元】 ヘアメイク業界のトレンド調査と理解 【到達目標】 今期トレンドのヘア、メイクのトレンド調査(マーケティング調査)を行い、ファッション全般との連動を理解する		
2	【授業単元】 SNSでのトレンド発信についての理解 【到達目標】 SNSを利用したマーケティング戦略はどのようなものがあるのか？ 実際にSNSを活用しているブランドを考察し理解する			10	【授業単元】 70～'90のトレンド調査とトレンド理解 【到達目標】 70～'90のファッション全般(ヘア、メイク含む)のトレンドをWEBや雑誌から調べ、理解する		
3	【授業単元】 雑誌でのトレンド発信についての理解 【到達目標】 雑誌を利用したマーケティング戦略はどのようなものがあるのか 雑誌からトレンド発信を理解する			11	【授業単元】 5大コレクションの調査と各コレクションの流れの理解 【到達目標】 5大コレクションの流れやコレクションブランドの調査とブランド理解する		
4	【授業単元】 年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解① 【到達目標】 SNS、雑誌、WEBから20代ファッションのトレンド(アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク)を調べて市場を理解する			12	【授業単元】 ジュエリーブランドのトレンド理解 【到達目標】 ジュエリーブランドのトレンド調査を行い、アパレル、ヘアメイクとのコーディネートでの見せ方を理解する		
5	【授業単元】 年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解② 【到達目標】 SNS、雑誌、WEBから30代ファッションのトレンド(アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク)を調べて市場を理解する			13	【授業単元】 トレンド調査プレゼン作成① 【到達目標】 ファッション業界でのトレンド(アパレル、服飾雑貨、ジュエリー、メイク)を調査し、プレゼン資料作成		
6	【授業単元】 年代別トレンドのマーケット市場の調査と理解③ 【到達目標】 SNS、雑誌、WEBから40代ファッションのトレンド(アパレル、服飾雑貨、コスメ、ヘアメイク)を調べて市場を理解する			14	【授業単元】 トレンド調査プレゼン作成② 【到達目標】 ファッション業界でのトレンド(アパレル、服飾雑貨、ジュエリー、メイク)を調査し、プレゼン資料作成		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 筆記試験(20点)			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筆記試験、トレンド調査プレゼンシート(60点)		
8	【授業単元】 ラグジュアリーブランド(メゾンブランド)のトレンド理解 【到達目標】 雑誌、SNS、WEBからラグジュアリーブランドが発信しているトレンドを考察し理解する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	素材論 The material theory	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科・ファッションコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
洋服・ファッション小物に使われている素材を知り、実際に手に触れることによって的確な扱いができるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
衣類、ファッション小物に使用されている素材と、そのT.P.O.についての知識を得る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント教材							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 感性語とマトリックス分析表の作成 【到達目標】 感性語に添ったマトリックス分析表を作成する事ができる。 ★持ち物:雑誌(切って使います。古いものでも可、ハサミ、カッター、のり			9	【授業単元】 天然素材と化学繊維 1-2 【到達目標】 天然素材と化学繊維の扱いの違いを知る事ができる ★持物:ハンカチ(2種/木綿、ナイロン)、裁縫道具、チャコペン		
2	【授業単元】 感性語とマトリックス分析表の作成 【到達目標】 感性語に添ったマトリックス分析表を作成する事ができる。 ★持ち物:雑誌(切って使います。古いものでも可、ハサミ、カッター、のり			10	【授業単元】 天然素材と化学繊維 1-3 【到達目標】 天然素材と化学繊維の扱いの違いを知る事ができる ★持物:ハンカチ(2種/木綿、ナイロン)、裁縫道具、チャコペン		
3	【授業単元】 装飾素材 1-1 【到達目標】 ニットについての知識を得ることができる。 ★持物:かぎ針、毛糸、ウッドピース			11	【授業単元】 プリント生地 1-1 【到達目標】 プリント生地を自身で作成することによって、プリントの生地の出方を知る事ができる ★アクリル絵の具、スポンジ、筆、型紙(ソックスの台紙またはクリアファイル)		
4	【授業単元】 装飾素材 1-2 【到達目標】 ニットについての知識を得ることができる。 ★持物:かぎ針、毛糸、ウッドピース			12	【授業単元】 プリント生地 1-2 【到達目標】 プリント生地を自身で作成することによって、プリントの生地の出方を知る事ができる ★アクリル絵の具、スポンジ、筆、型紙(ソックスの台紙またはクリアファイル)		
5	【授業単元】 装飾素材 2-1 【到達目標】 ボタン・ビーズの扱い方を知る事ができる ★持物:ボタン、ビーズ、裁縫道具、			13	【授業単元】 リボンの結び方と異素材を使ったラッピング 1-1 【到達目標】 様々なりぼんの扱い方を知り、素材事の違いを知る事ができる ★持物:リボン(皮革、布、ひも等)ラッピング用品(包装紙、布、などのラッピング用品)、セロテープ、ホチキス		
6	【授業単元】 装飾素材 2-2 【到達目標】 ボタン・ビーズの扱い方を知る事ができる ★持物:ボタン、ビーズ、裁縫道具、			14	【授業単元】 リボンの結び方と異素材を使ったラッピング 2 【到達目標】 様々なりぼんの扱い方を知り、素材事の違いを知る事ができる ★持物:リボン(皮革、布、ひも等)ラッピング用品(包装紙、布、などのラッピング用品)、セロテープ、ホチキス		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 1～7回目までの総復習を行い知識を深める			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 1～14回目までの授業の総復習を行い理解を深める		
8	【授業単元】 天然素材と化学繊維 1-1 【到達目標】 天然素材と化学繊維の扱いの違いを知る事ができる ★持物:ハンカチ(2種/木綿、ナイロン)、裁縫道具、チャコペン			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	検定対策Ⅰ (Official overall practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	森下公雄
学科・コース	トータルビューティ科ファッション分野	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
販売/店舗運営の経験を有する講師による指導のもと、ファッション販売能力検定3級資格取得を目指す。 検定のテキストをもとに販売に必要な知識を学習し実際の店頭業務との関連性を理解しながらアウトプットして店頭での実務に繋げる。 この検定はファッション小売業における販売実務を網羅するものであり、就業後の知識として重要なものである。							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション販売能力検定2級取得:ファッション小売業における販売/店舗運営知識の把握、技術の習得 ナチュラルビューティースタイリスト検定取得:ライフスタイルアドバイザーとしての健康的なくらしのサポート知識習得							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
ファッション販売3 ファッション販売検定試験問題集3級 ナチュラルビューティースタイリスト検定問題集				講義時に行った問題集の正誤復習理解			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ファッション販売能力検定3級概要解説 【到達目標】 ファッション販売能力検定3級概要理解する 教科書全ページ流し読み			9	【授業単元】 4章 売り場づくり 【到達目標】 売り場づくり理解する 教科書:P152-P173 問題集:		
2	【授業単元】 1章ファッション販売知識 【到達目標】 ファッション販売知識理解する 教科書:P8-P19/P174-P185 問題集:			10	【授業単元】 ファッション販売能力検定3級 総括 【到達目標】 ファッション販売能力検定3級総合理解する 試験対策、過去問演習		
3	【授業単元】 5章 マーケティング1 【到達目標】 マーケティング1理解する 教科書:P174-P185 問題集:			11	【授業単元】 ナチュラルビューティースタイリスト検定対策1 【到達目標】 ナチュラルビューティースタイリストとの役割理解する 「カラダのしくみを知る」理解 教科書:P2-P22		
4	【授業単元】 5章 マーケティング2 【到達目標】 マーケティング2理解する 教科書:P185-P197 問題集:			12	【授業単元】 ナチュラルビューティースタイリスト検定対策2 【到達目標】 「カラダの内側から整える」理解する 教科書:P23-P62		
5	【授業単元】 6章 販売スタッフの業務 【到達目標】 販売スタッフの業務理解する 教科書:P185-P197 問題集:			13	【授業単元】 ナチュラルビューティースタイリスト検定対策3 【到達目標】 「カラダの外側から整える」理解する 教科書:P63-P86		
6	【授業単元】 2章 ファッション販売技術 【到達目標】 ファッション販売技術理解する 教科書:P20-P45 問題集:			14	【授業単元】 ナチュラルビューティースタイリスト検定対策4 【到達目標】 「毎日のこころがけでナチュラルビューティー」理解する 「植物図鑑」理解 教科書:P87-P121		
7	【授業単元】 3章 商品知識1 【到達目標】 アイテムの知識理解する 教科書:P46-P93 問題集:			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ファッション販売能力検定総合理解		
8	【授業単元】 3章 商品知識2 【到達目標】 素材/ディテール/柄/サイズ知識理解する 教科書:P94-P151 問題集:			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ファッション販売能力検定3級試験 検定試験:12/14(土) 出願期間:9月17日(月)～10月16日(水)							